

Ⅲ 調査結果 引越しのきっかけ・重要視する点等 (問 8 から問 9)

1 引越しのきっかけ（問8）

問8 (1) 以下の選択肢のうち、引越しのきっかけとして重要だったものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも可)

1. 就職
2. 転勤
3. 転職
4. 退職
5. 進学・卒業
6. 住宅の購入
7. 結婚
8. 出産
9. 家族や親族から独立するため
10. 親や親族の介護
11. 防災上の理由
12. 住まいの賃貸契約の更新が近かった
13. 家計状況の好転
14. 家計状況の悪化
15. 通院
16. 健康上の理由
17. その他（具体的に： ）

問8 (2) 引越しのきっかけを(1)で複数お答えいただいた方に質問します。引越しのきっかけのうち最も重要だったものを1つ選んで番号でお答えください。

問8の引越しのきっかけについて、選択肢の「その他」については、その他の内容を具体的に記載してもらっており、さらに細分化することが可能であったため、「離婚」、「死去」、「同居・同棲」、「近居」、「立ち退き」、「建て替え・改築」、「広い家への住み替え」、「通勤・通学」を集計項目として外出し、そのいずれにも該当しない回答を「その他」と分類した。

(1) 基本集計結果

ア 引越しのきっかけとして重要だったもの（複数回答）

轉出

転入

轉居

合計

引越しのきっかけとして、「転出」については「結婚」や「住宅の購入」など自発的な理由、「転入」については「転職」や「転勤」などやむを得ない理由が多くなっている。

■調査結果

「転出」における引越しのきっかけとして重要だったものについては、第1位は「結婚」で20.6%、第2位は「住宅の購入」で19.4%、第3位は「住まいの賃貸契約の更新が近かった」で12.1%、第4位は「転職」で10.5%、第5位は「出産」で8.5%であった。

「転入」については、第1位は「転職」で18.5%、第2位は「転勤」で16.9%、第3位は「住まいの賃貸契約の更新が近かった」で11.8%、第4位は「結婚」で10.3%、第5位は「就職」で9.2%であった。

「転居」については、第1位は「住まいの賃貸契約の更新が近かった」で22.5%、第2位は「住宅の購入」で21.2%、第3位は「出産」で9.1%、第4位は「結婚」で7.8%、第5位は「家計状況の好転」で6.1%であった（図表3-1-1-1～3-1-1-4）。

■特徴

引越しのきっかけとして、「転出」については「結婚」と「住宅の購入」、「転入」については「転職」と「転勤」、「転居」については、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」と「住宅の購入」は1割5分を越える高い回答率を示している。「転出」については「結婚」と「住宅の購入」など自発的な理由、「転入」については「転職」と「転勤」などやむを得ない理由が多くなっている。

図表3-1-1-1 「転出」における引越しのきっかけとして重要だったもの（上位5位）

順位	きっかけ	割合
1	結婚	20.6%
2	住宅の購入	19.4%
3	住まいの賃貸契約の更新が近かった	12.1%
4	転職	10.5%
5	出産	8.5%

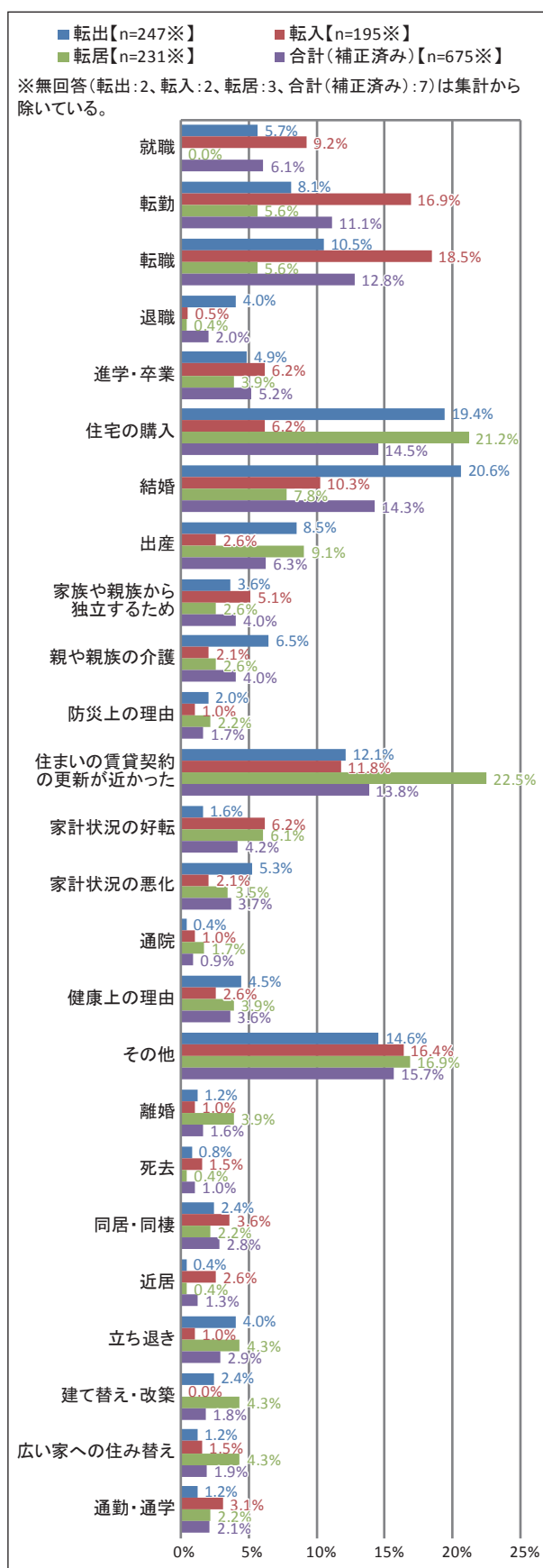
図表3-1-1-2 「転入」における引越しのきっかけとして重要だったもの（上位5位）

順位	きっかけ	割合
1	転職	18.5%
2	転勤	16.9%
3	住まいの賃貸契約の更新が近かった	11.8%
4	結婚	10.3%
5	就職	9.2%

図表3-1-1-3 「転居」における引越しのきっかけとして重要だったもの（上位5位）

順位	きっかけ	割合
1	住まいの賃貸契約の更新が近かった	22.5%
2	住宅の購入	21.2%
3	出産	9.1%
4	結婚	7.8%
5	家計状況の好転	6.1%

図表3-1-1-4 引越しのきっかけとして重要だったもの



イ 引越しのきっかけとして最も重要だったもの

転出

転入

転居

合計

引越しのきっかけとして最も重要だったものについても、「転出」は「結婚」や「住宅の購入」など自発的な理由、「転入」は「転職」や「転勤」などやむを得ない理由が多くなっている。

■調査結果

「転出」における引越しのきっかけとして最も重要だったものについて、第1位は「結婚」で17.6%、第2位は「住宅の購入」で12.2%、第3位は「転勤」、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」がそれぞれ6.7%、第5位は「転職」で5.9%であった。

「転入」については、第1位は「転勤」で16.6%、第2位は「転職」で15.0%、第3位は「結婚」で9.3%、第4位は「就職」で8.8%、第5位は「住宅の購入」で4.7%であった。

「転居」については、第1位は「住宅の購入」で15.8%、第2位は「住まいの賃貸契約の更新が近かった」で14.5%、第3位は「出産」で6.6%、第4位は「結婚」で6.1%、第5位は「転勤」で4.4%であった（図表3-1-1-5～3-1-1-8）。

■特徴

引越しのきっかけとして最も重要だったものについて、「転出」は「結婚」と「住宅の購入」、「転入」は「転勤」と「転職」、「転居」は「住宅の購入」と「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は1割を超える高い回答率を示している。「転出」については「結婚」と「住宅の購入」など自発的な理由、「転入」については「転職」と「転勤」などやむを得ない理由が多くなっている。

図表3-1-1-5 「転出」における引越しのきっかけとして最も重要だったもの（上位5位）

順位	きっかけ	割合
1	結婚	17.6%
2	住宅の購入	12.2%
3	転勤	6.7%
3	住まいの賃貸契約の更新が近かった	6.7%
5	転職	5.9%

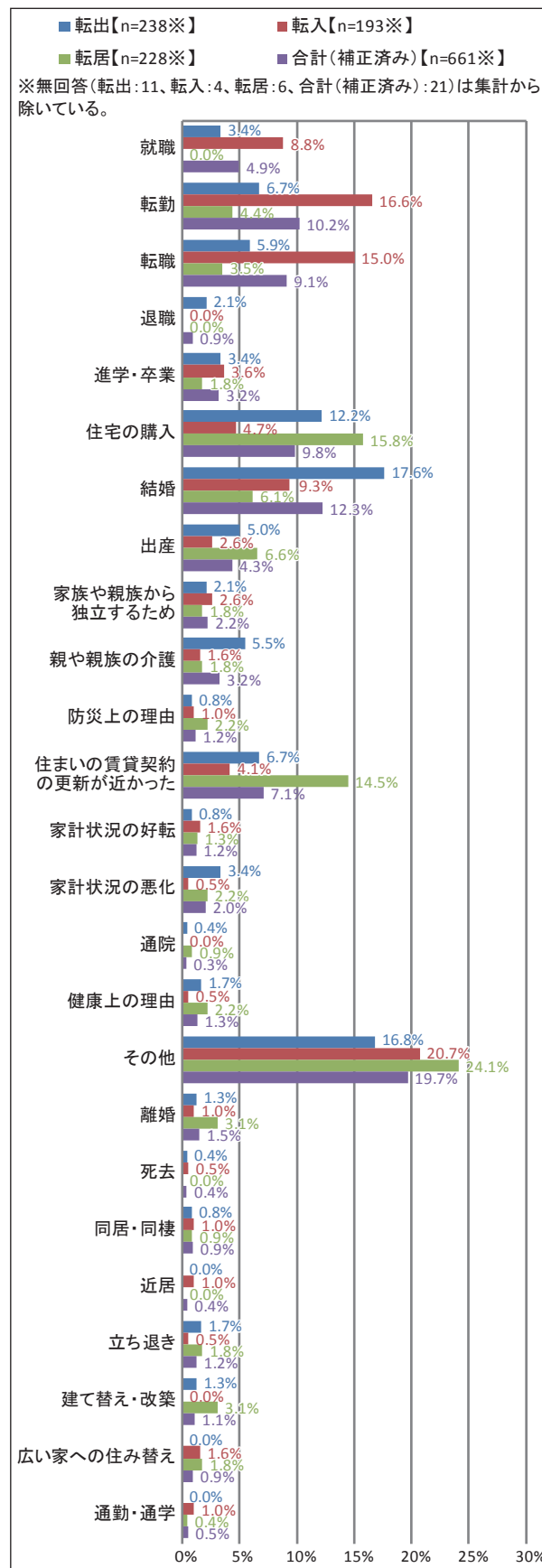
図表3-1-1-6 「転入」における引越しのきっかけとして最も重要だったもの（上位5位）

順位	きっかけ	割合
1	転勤	16.6%
2	転職	15.0%
3	結婚	9.3%
4	就職	8.8%
5	住宅の購入	4.7%

図表3-1-1-7 「転居」における引越しのきっかけとして最も重要だったもの（上位5位）

順位	きっかけ	割合
1	住宅の購入	15.8%
2	住まいの賃貸契約の更新が近かった	14.5%
3	出産	6.6%
4	結婚	6.1%
5	転勤	4.4%

図表3-1-1-8 引越しのきっかけとして最も重要だったもの（全項目）



(2) クロス集計結果

ア 転出

(ア) 年齢別引越しのきっかけ

転出

転出者の年齢が低いほど「転勤」、「転職」、「結婚」の回答割合が高い傾向がある。また、「50～64歳」で「親や親族の介護」が他世代と比較して突出している。

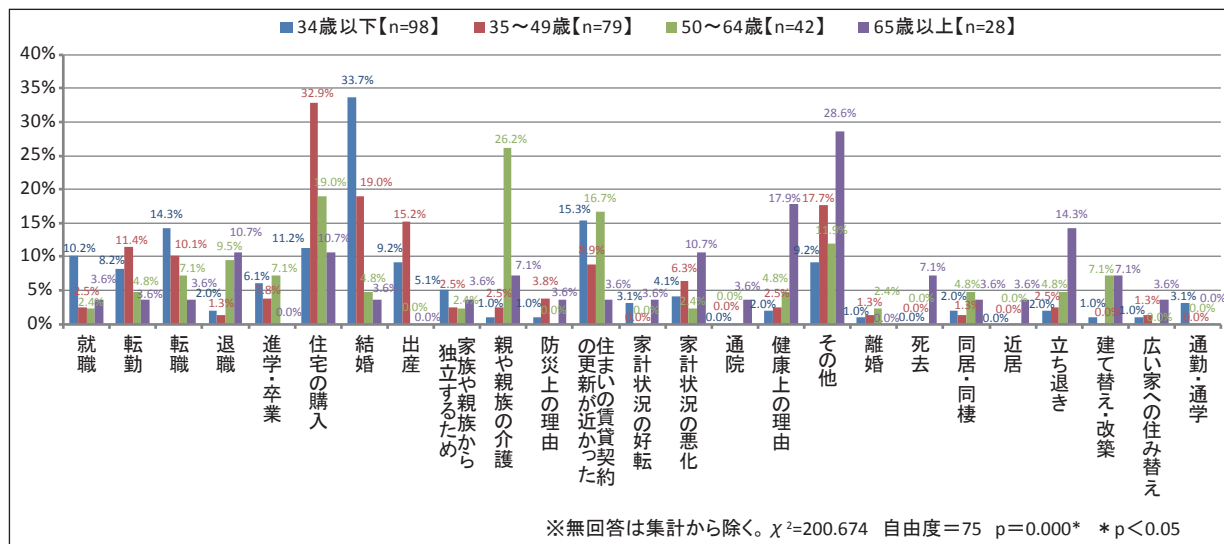
■調査結果

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「34歳以下」は、「結婚」（33.7%）が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（15.3%）、「転職」（14.3%）などが多くなっている。「35～49歳」は、「住宅の購入」（32.9%）が最も多く、次いで「結婚」（19.0%）、「出産」（15.2%）などが多くなっている。「50～64歳」では、「親や親族の介護」（26.2%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（19.0%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（16.7%）などが多くなっている。「65歳以上」は、「健康上の理由」（17.9%）が最も多く、「立ち退き」（14.3%）が続く、「退職」（10.7%）、「住宅の購入」（10.7%）、「家計状況の悪化」（10.7%）が同率3位である（図表3-1-2-1）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「転勤」、「転職」、「結婚」では、年齢が低いほど回答割合がおおむね高い傾向がある。特に「結婚」では顕著である。一方で、「退職」、「健康上の理由」、「立ち退き」では、年齢が高いほど回答割合が高い傾向がある。また、「50～64歳」で「親や親族の介護」が他年齢層と比較して突出している。

図表3-1-2-1 年齢別引越しのきっかけ



(イ) 性別引越しのきっかけ

転出

「男性」は「住宅の購入」の割合が高く、「女性」は「結婚」の割合が高い。

■調査結果

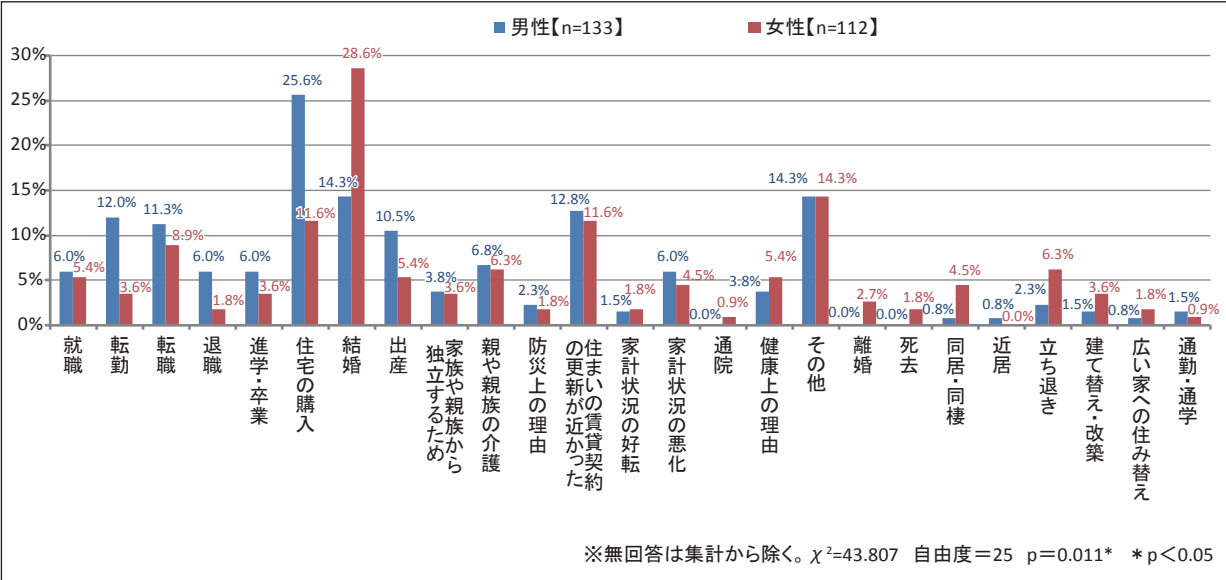
「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「男性」は、「住宅の購入」（25.6%）が最も多く、次

いで「結婚」(14.3%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(12.8%)などが多くなっている。「女性」は、「結婚」(28.6%)が最も多く、「住宅の購入」(11.6%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(11.6%)が同率2位である(図表3-1-2-2)。

■特徴

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「住宅の購入」では、「男性」の方が「女性」より、14.0ポイント高い。一方、「結婚」では、「女性」の方が「男性」より、14.3ポイント高く、男女間の差異が特に顕著である。

図表3-1-2-2 性別引越しのきっかけ



(ウ) 職業別引越しのきっかけ

転出

職業によらず「住宅の購入」、「結婚」は回答割合が高く、被雇用者である「会社員・団体職員・公務員」は「転勤」、「転職」が高い。

■調査結果

ここでは、「自営業主・法人経営者等」と「会社員・団体職員・公務員」に着目して分析する。

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「自営業主・法人経営者等」は、「住宅の購入」(19.5%)が最も多く、「結婚」(17.1%)が続き、「進学・卒業」(9.8%)、「親や親族の介護」(9.8%)が同率3位である。「会社員・団体職員・公務員」は、「結婚」(23.1%)が最も多く、次いで「住宅の購入」(21.8%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(14.1%)などが多くなっている(図表3-1-2-3)。

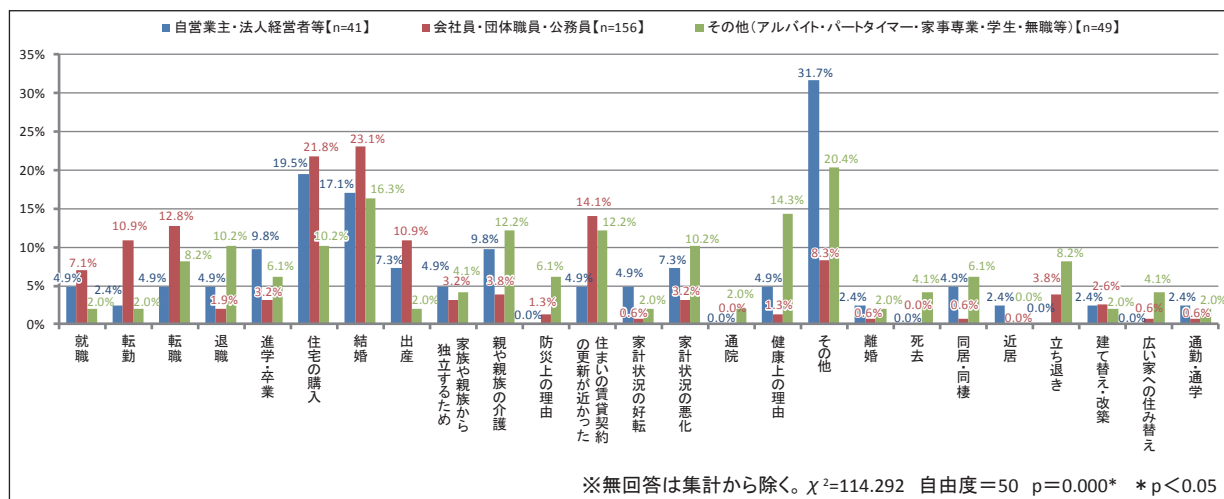
「引越しのきっかけ(最重要)」(問8(2))について、「自営業主・法人経営者等」は、「住宅の購入」(12.5%)が最も多く、次いで「親や親族の介護」(10.0%)、「結婚」(7.5%)などが多くなっている。「会社員・団体職員・公務員」は、「結婚」(21.4%)が最も多く、次いで「住宅の購入」(14.3%)、「転勤」(9.7%)などが多くなっている(図表3-1-2-4)。

■特徴

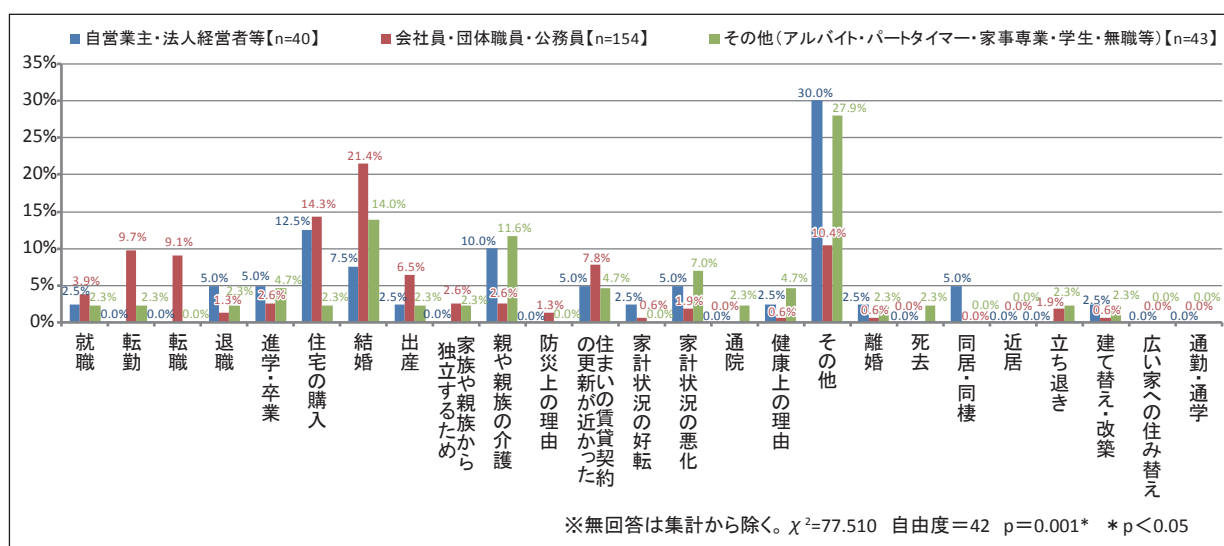
「引越しのきっかけ」(問8(1))について、職業によらず「住宅の購入」、「結婚」は上位2位に入っている。一方、「転勤」、「転職」は被雇用者である「会社員・団体職員・公務員」が突出して高い。

「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））を「引越しのきっかけ」（問8（1））と比較すると、「結婚」が「会社員・団体職員・公務員」では最重要のきっかけとしても同程度の割合である一方、「自営業主・法人経営者等」では最重要のきっかけとしては割合がさほど高くなく、「親や親族の介護」の方が高くなっている。

図表3-1-2-3 職業別引越しのきっかけ



図表3-1-2-4 職業別引越しのきっかけ（最重要）



（エ）引越し前の世帯の人数別引越しのきっかけ

転出

世帯の人数が多いほど「進学・卒業」、「住宅の購入」の回答割合がおおむね高い傾向がある。

■調査結果

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「単独」は、「結婚」（25.7％）が最も多く、次いで「転職」（17.4％）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（16.5％）などが多くなっている。「2人」は、

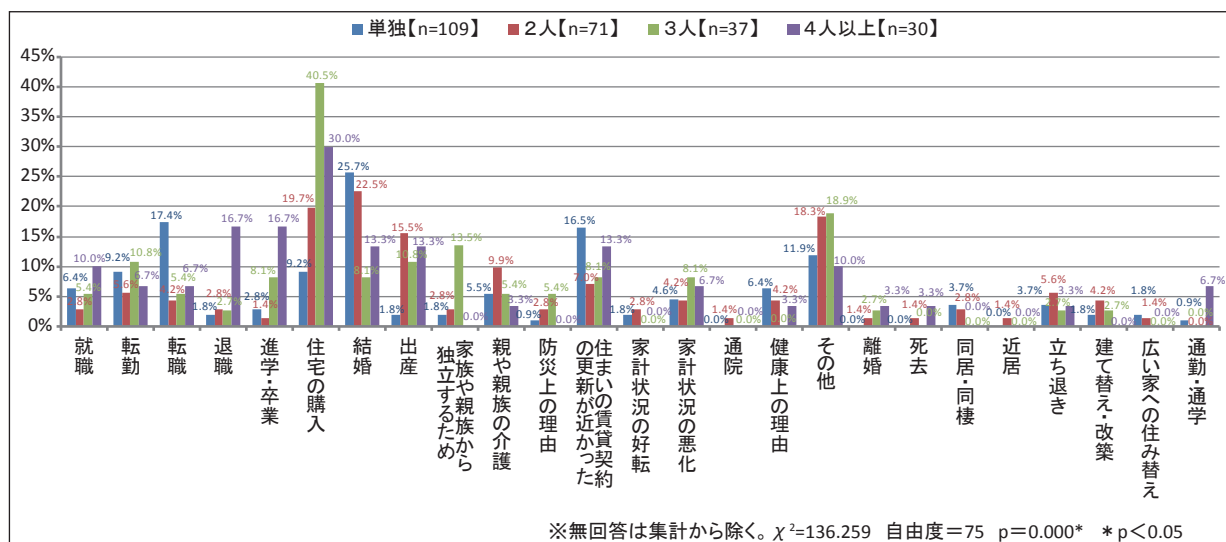
「結婚」(22.5%) が最も多く、「住宅の購入」(19.7%)、「出産」(15.5%) などが多くなっている。「3人」は、「住宅の購入」(40.5%) が最も多く、「家族や親族から独立するため」(13.5%) が続き、「転勤」(10.8%)、「出産」(10.8%) が同率3位である。「4人以上」は、「住宅の購入」(30.0%) が最も多く、「退職」(16.7%)、「進学・卒業」(16.7%) が同率2位である(図表3-1-2-5)。

「引越しのきっかけ(最重要)」(問8(2))について、「単独」は、「結婚」(22.4%) が最も多く、次いで「転職」(11.2%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(9.3%) などが多くなっている。「2人」は、「結婚」(16.7%) が最も多く、「住宅の購入」(12.1%)、「出産」(12.1%) が同率2位である。「3人」は、「住宅の購入」(27.8%) が最も多く、次いで「家族や親族から独立するため」(11.1%)、「結婚」(8.3%) などが多くなっている。「4人以上」は、「進学・卒業」(13.8%)、「結婚」(13.8%) が同率1位で最も多く、「就職」(10.3%) が続く(図表3-1-2-6)。

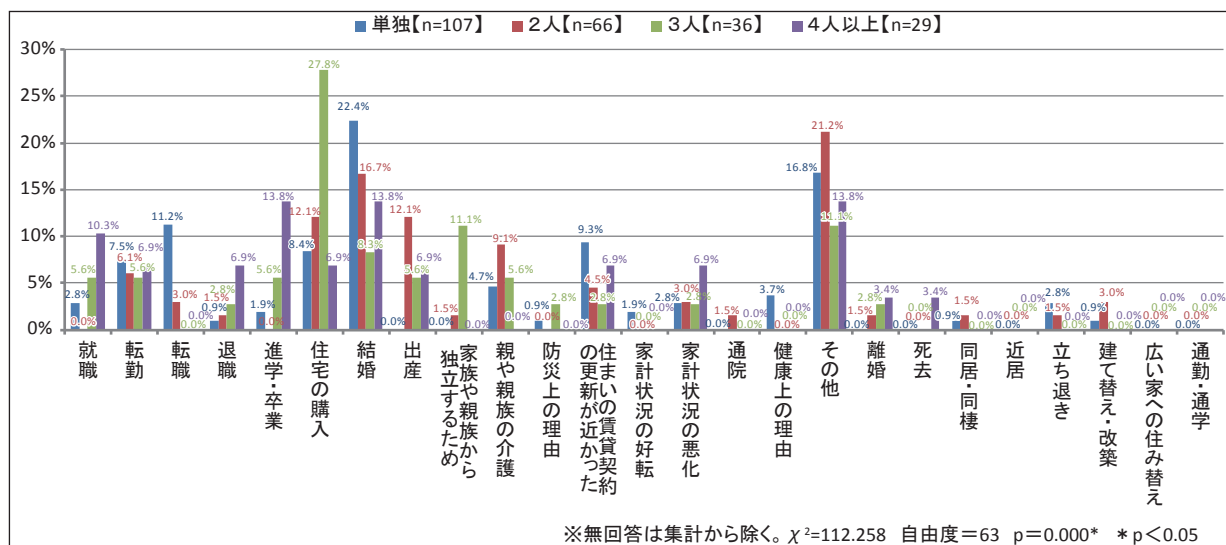
■特徴

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「進学・卒業」、「住宅の購入」では、世帯の人数が多い

図表3-1-2-5 引越し前の世帯の人数別引越しのきっかけ



図表3-1-2-6 引越し前の世帯の人数別引越しのきっかけ(最重要)



ほど回答割合がおおむね高い傾向がある。「転職」では、「単独」が突出して高く、「退職」では、「4人以上」が突出して高い。

「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））を「引越しのきっかけ」（問8（1））と比較すると、おおむね同じ傾向であるが、「住宅の購入」の「4人以上」は、最重要のきっかけとしてさほど高くない。

転出

（オ）引越し前の配偶者同居の有無別引越しのきっかけ

「配偶者同居あり」は「住宅の購入」の割合が高く、「配偶者同居なし」は「結婚」の割合が高い。

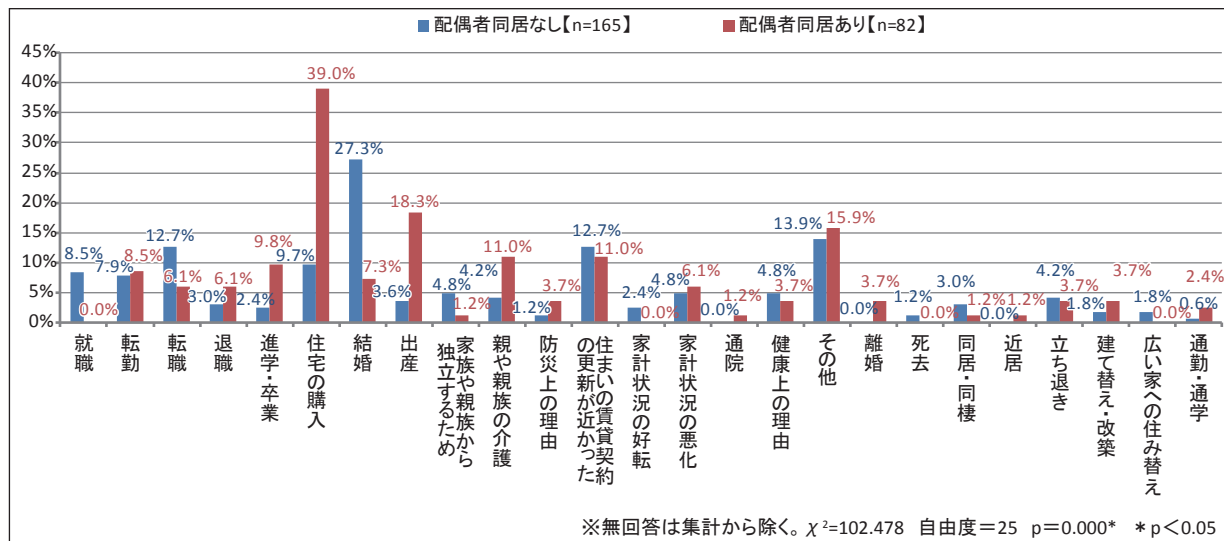
■調査結果

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「配偶者同居あり」は、「住宅の購入」（39.0%）が最も多く、「出産」（18.3%）が続く。「親や親族の介護」（11.0%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（11.0%）が同率3位である。「配偶者同居なし」は、「結婚」（27.3%）が最も多く、「転勤」（12.7%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（12.7%）が同率2位である（図表3-1-2-7）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「住宅の購入」では、「配偶者同居あり」の方が「配偶者同居なし」より、29.3ポイント高い。一方、「結婚」では、「配偶者同居なし」の方が「配偶者同居あり」より、20.0ポイント高く、配偶者同居の有無による差異が特に顕著である。

図表3-1-2-7 引越し前の配偶者同居の有無別引越しのきっかけ



転出

（カ）引越し前の0～6歳児同居の有無別引越しのきっかけ

引越し前の「0～6歳児同居あり」は、6割弱が「住宅の購入」、3割強が「出産」を回答している。

■調査結果

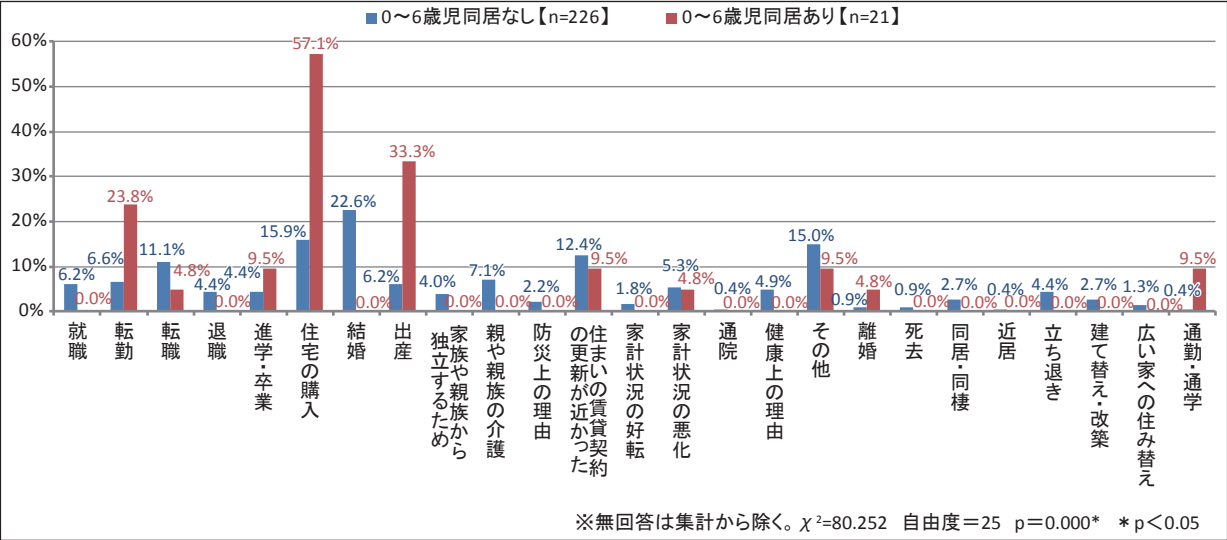
「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「0～6歳児同居なし」は、「結婚」（22.6%）が最も

多く、次いで「住宅の購入」(15.9%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(12.4%)などが多くなっている。「0～6歳児同居あり」は、「住宅の購入」(57.1%)が最も多く、次いで「出産」(33.3%)、「転勤」(23.8%)などが多くなっている(図表3-1-2-8)。

■特徴

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「住宅の購入」、「出産」、では、「0～6歳児同居あり」の方が「0～6歳児同居なし」より、それぞれ41.2、27.1ポイント高い。「住宅の購入」はいずれの回答でも割合が高いが、特に「0～6歳児同居あり」においては、過半数を超える非常に顕著な結果が出ている。一方、「結婚」では、「0～6歳児同居なし」の方が「0～6歳児同居あり」より、22.6ポイント高く、0～6歳児同居の有無による差異が大きい。

図表3-1-2-8 引越し前の0～6歳児同居の有無別引越しのきっかけ



転出

(キ) 引越し後の住所別引越しのきっかけ

「東京都内」と「近隣3県（神奈川・埼玉・千葉）」への転出者は、いずれも「住宅の購入」が1位である。

■調査結果

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「東京都内」は、「住宅の購入」(25.2%)が最も多く、次いで「結婚」(23.2%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(16.1%)などが多くなっている。「近隣3県（神奈川・埼玉・千葉）」は、「住宅の購入」(17.0%)が最も多く、次いで「結婚」(14.9%)、「親や親族の介護」(12.8%)などが多くなっている。「その他の地域（国外）」では、「転勤」(32.5%)が最も多く、「結婚」(15.0%)が続き、「就職」(12.5%)、「転職」(12.5%)、「親や親族の介護」(12.5%)が同率3位である(図表3-1-2-9)。

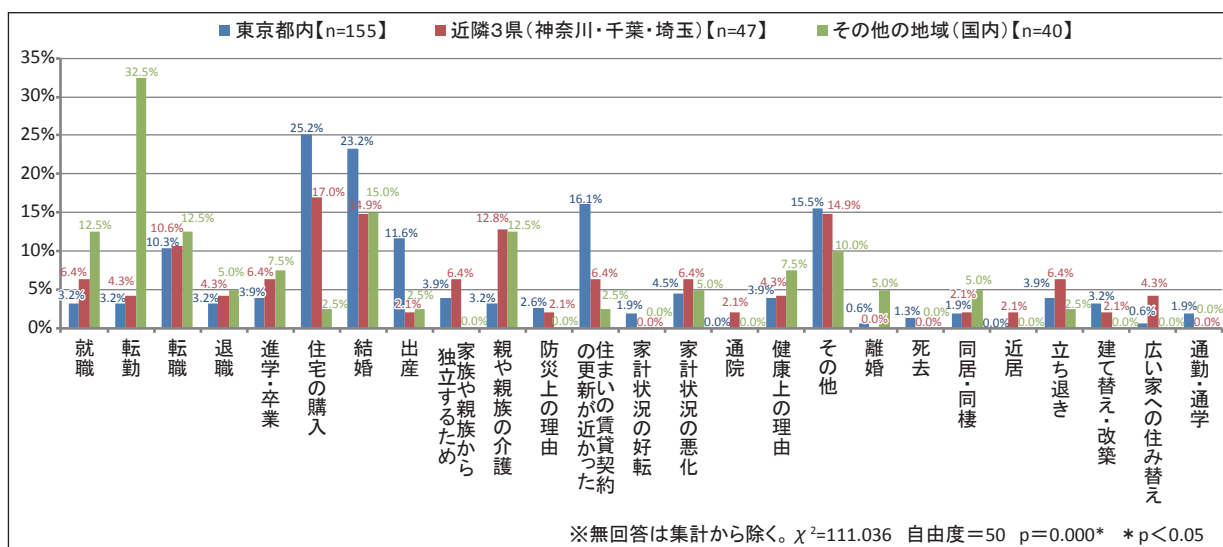
「引越しのきっかけ（最重要）」(問8(2))について、「東京都内」は、「結婚」(20.3%)が最も多く、次いで「住宅の購入」(15.7%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(9.8%)などが多くなっている。「近隣3県（神奈川・埼玉・千葉）」は、「結婚」(15.6%)が最も多く、「住宅の購入」(11.1%)、「親や親族の介護」(11.1%)が同率2位である。「その他の地域（国外）」では、「転勤」(32.4%)が最も多く、次いで「親や親族の介護」(10.8%)、「結婚」(8.1%)などが多くなっている(図表3-1-2-10)。

■特徴

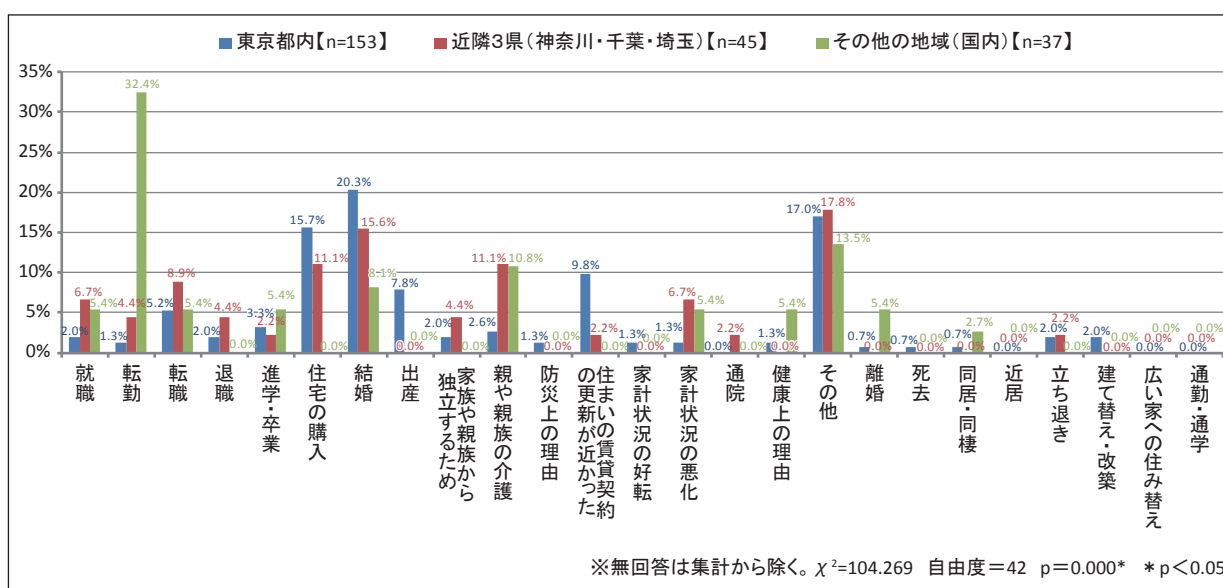
「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「転勤」では、「その他の地域(国内)」が突出して高い。「転職」、「結婚」はいずれの引越し後住所でも回答割合が高い。「住宅の購入」は「その他の地域(国内)」が、「親や親族の介護」は「東京都内」がそれぞれ突出して低く、特徴的である。

「引越しのきっかけ(最重要)」(問8(2))を「引越しのきっかけ」(問8(1))と比較すると、おおむね同じ傾向であるが、「東京都内」、「近隣3県(神奈川・千葉・埼玉)」で最重要のきっかけとして「住宅の購入」より「結婚」の方が割合が高くなっているほか、「転勤」の「その他地域(国内)」は、相対的に突出している。

図表3-1-2-9 引越し後の住所別引越しのきっかけ



図表3-1-2-10 引越し後の住所別引越しのきっかけ(最重要)



(ク) 引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ

いずれの住宅の所有形態でも「住宅の購入」と「結婚」の回答割合が高く、「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は「転勤」と「転職」が相対的に高い。

■調査結果

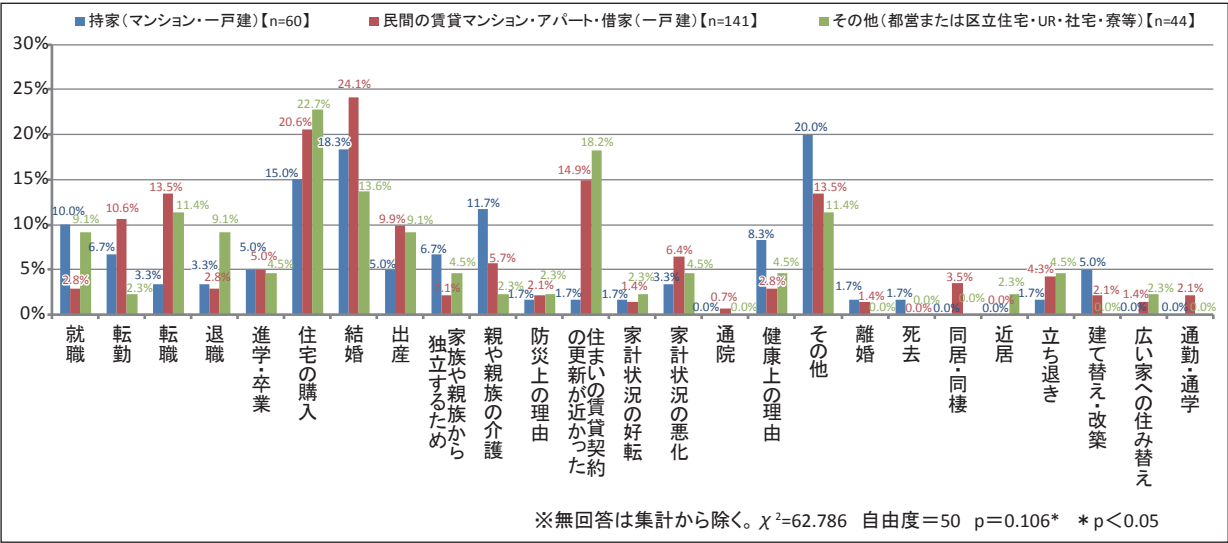
ここでは、「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」に着目して分析する。

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「結婚」（18.3%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（15.0%）、「親や親族の介護」（11.7%）などが多くなっている。「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は、「結婚」（24.1%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（20.6%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（14.9%）などが多くなっている（図表3-1-2-11）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「住宅の購入」、「結婚」では、いずれの住宅の所有形態でも回答割合が高い。「転勤」、「転職」では、「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」の割合が高いことが特徴的である。

図表3-1-2-11 引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ



(ケ) 引越し後の住宅の所有形態別引越しのきっかけ

引越し後「持家（マンション・一戸建）」は、住宅購入を契機として引越しをしている。

■調査結果

ここでは、「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」に着目して分析する。

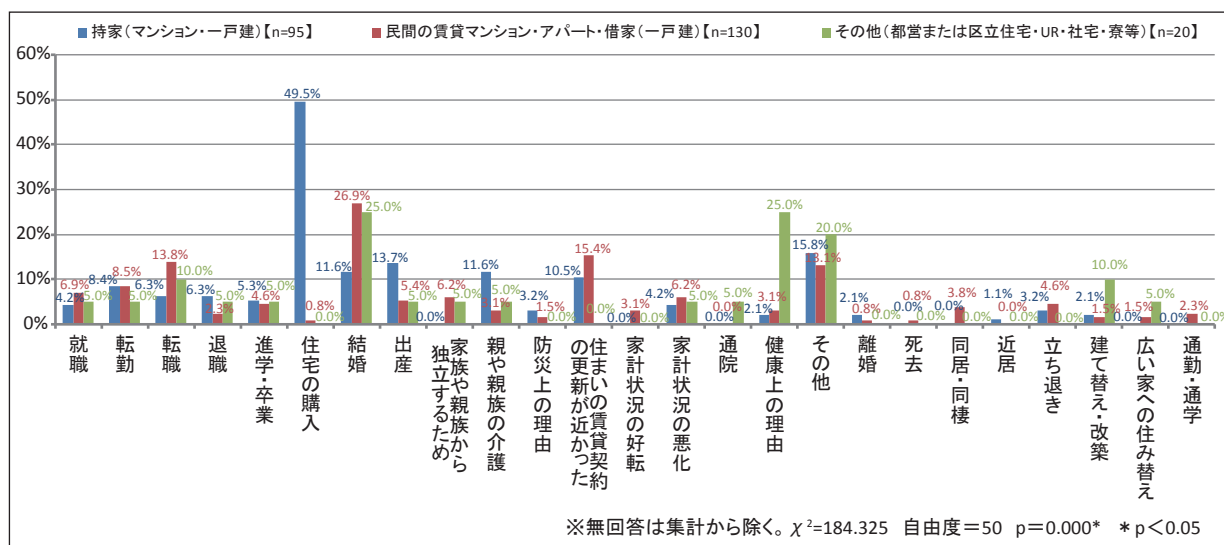
「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「住宅の購入」

(49.5%) が最も多く、「出産」(13.7%) が続き、「結婚」(11.6%)、「親や親族の介護」(11.6%) が同率 3 位である。「民間の賃貸マンション・アパート・借家(一戸建)」は、「結婚」(26.9%) が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(15.4%)、「転職」(13.8%) などが多くなっている(図表3-1-2-12)。

■特徴

「引越しのきっかけ」(問 8 (1)) について、「住宅の購入」では、引越し後の住宅の所有形態が「持家(マンション・一戸建)」であるものは、住宅購入を契機として引越しをしている割合が高いことが読み取れる。一方、「結婚」における「持家(マンション・一戸建)」は、他の所有形態と比較し低い。

図表3-1-2-12 引越し後の住宅の所有形態別引越しのきっかけ



(コ) 引越し前住所の居住期間別引越しのきっかけ

転出

居住期間が短いほど「転職」、「出産」、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」の回答割合が高い傾向にある。

■調査結果

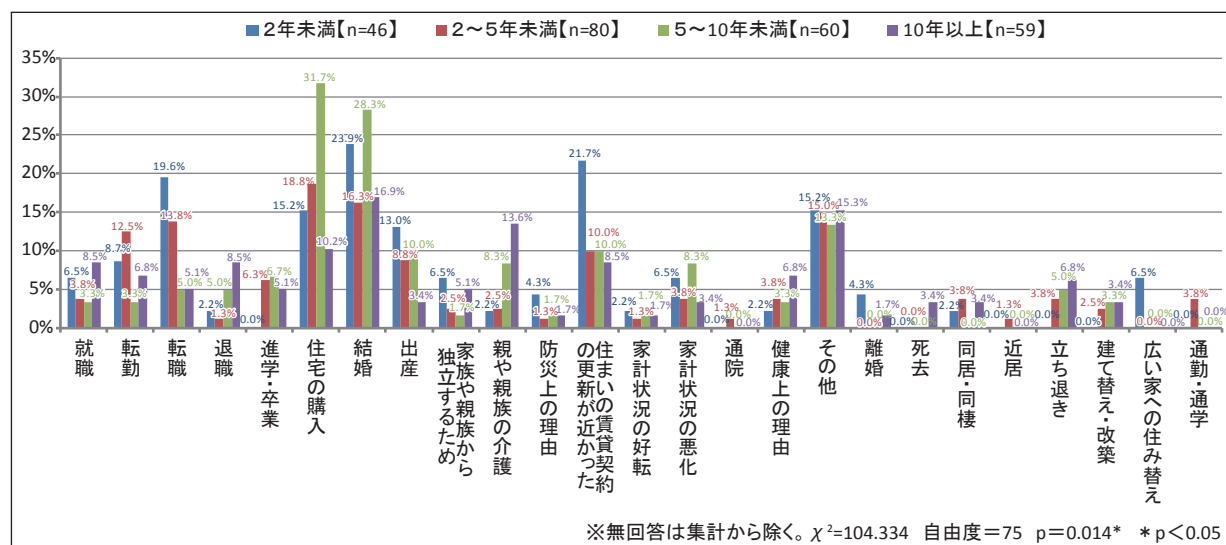
「引越しのきっかけ」(問 8 (1)) について、「2 年未満」は、「結婚」(23.9%) が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(21.7%)、「転職」(19.6%) などが多くなっている。「2～5 年未満」は、「住宅の購入」(18.8%) が最も多く、次いで「結婚」(16.3%)、「転職」(13.8%) などが多くなっている。「5～10 年未満」では、「住宅の購入」(31.7%) が最も多く、「結婚」(28.3%) が続き、「出産」(10.0%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(10.0%) が同率 3 位である。「10 年以上」は、「結婚」(16.9%) が最も多く、次いで「親や親族の介護」(13.6%)、「住宅の購入」(10.2%) が多くなっている(図表3-1-2-13)。

■特徴

「引越しのきっかけ」(問 8 (1)) について、「退職」、「親や親族の介護」、「立ち退き」、「建て替え・改築」では、居住期間が長いほど回答割合がおおむね高い傾向がある。一方で、「転職」、「出産」、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」では、居住期間が短いほど回答割合がおおむね高い傾向がある。特に「転職」、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」では顕著である。「住宅の購入」、「結婚」は、いず

れの居住期間でも高いものの、どちらも「5～10年未満」が最も高い。

図表3-1-2-13 引越し前住所の居住期間別引越しのきっかけ



イ 転入

(ア) 年齢別引越しのきっかけ

転入

年齢が低いほど「転職」、「家計状況の好転」の回答割合が高い傾向がある。

■調査結果

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「34歳以下」は、「転職」（23.2%）が最も多く、「就職」（16.8%）が続く、「転勤」（12.6%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（12.6%）が同率3位である。「35～49歳」は、「転勤」（23.0%）が最も多く、「転職」（19.7%）が続く、「住宅の購入」（13.1%）、「結婚」（13.1%）が同率3位である。「50～64歳」では、「転勤」（26.1%）が最も多く、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（13.0%）が続く、「就職」（8.7%）、「転職」（8.7%）、「結婚」（8.7%）、「家計状況の悪化」（8.7%）、「通勤・通学」（8.7%）が同率3位である。「65歳以上」は、「健康上の理由」（25.0%）が最も多く、次いで「親や親族の介護」（18.8%）、「近居」（18.8%）が同率2位である（図表3-1-2-14）。

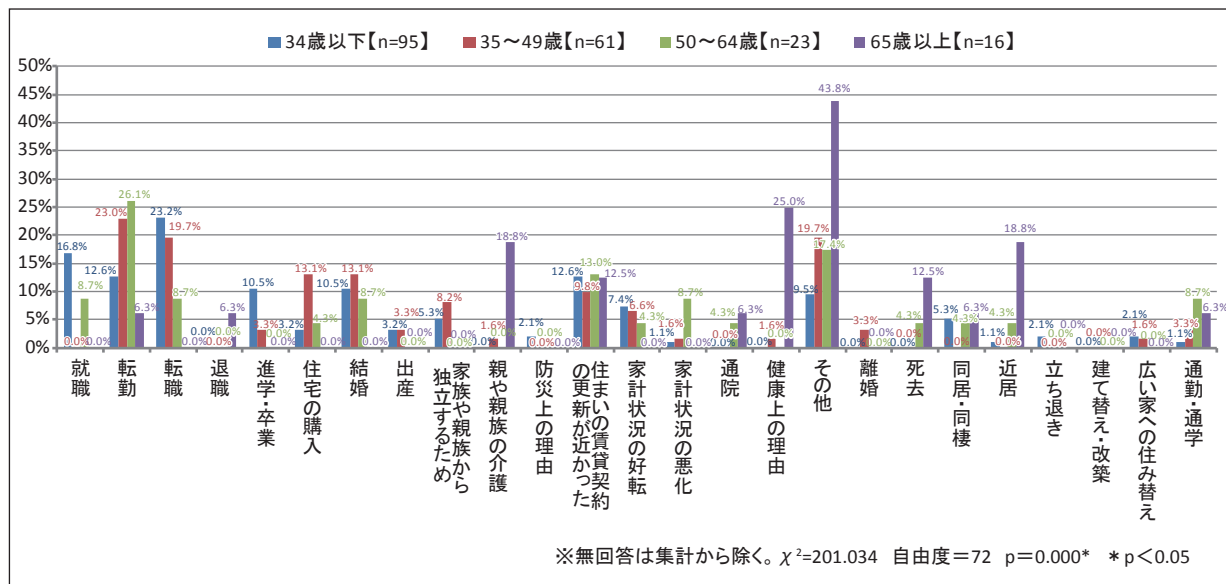
「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））について、「34歳以下」は、「転職」（18.9%）が最も多く、次いで「就職」（16.8%）、「転勤」（11.6%）などが多くなっている。「35～49歳」は、「転勤」（23.0%）が最も多く、「転職」（14.8%）が続く、「住宅の購入」（9.8%）、「結婚」（9.8%）が同率3位である。「50～64歳」では、「転勤」（26.1%）が最も多く、「結婚」（13.0%）が続く、「転職」（8.7%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（8.7%）が同率3位である。「65歳以上」は、「親や親族の介護」（14.3%）が最も多く、「転勤」（7.1%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（7.1%）、「死去」（7.1%）、「近居」（7.1%）、「通勤・通学」（7.1%）が同率2位である（図表3-1-2-15）。

■特徴

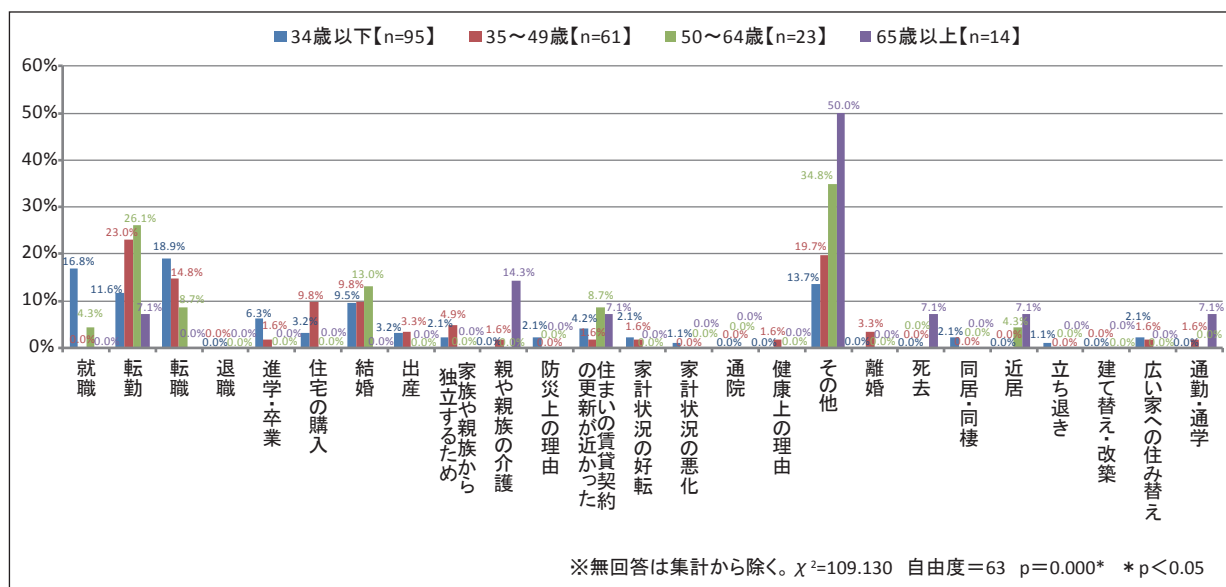
「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「転職」、「家計状況の好転」では、年齢が低いほど回答割合が高い傾向がある。「親や親族の介護」、「健康上の理由」、「死去」、「近居」では、「65歳以上」が突出して高いことが特徴的である。

「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））を「引越しのきっかけ」（問8（1））と比較すると、おおむね同じ傾向であるが、「健康上の理由」、「近居」は、最重要のきっかけとして割合が高くない。

図表3-1-2-14 年齢別引越しのきっかけ



図表3-1-2-15 年齢別引越しのきっかけ（最重要）



（イ）職業別引越しのきっかけ

転入

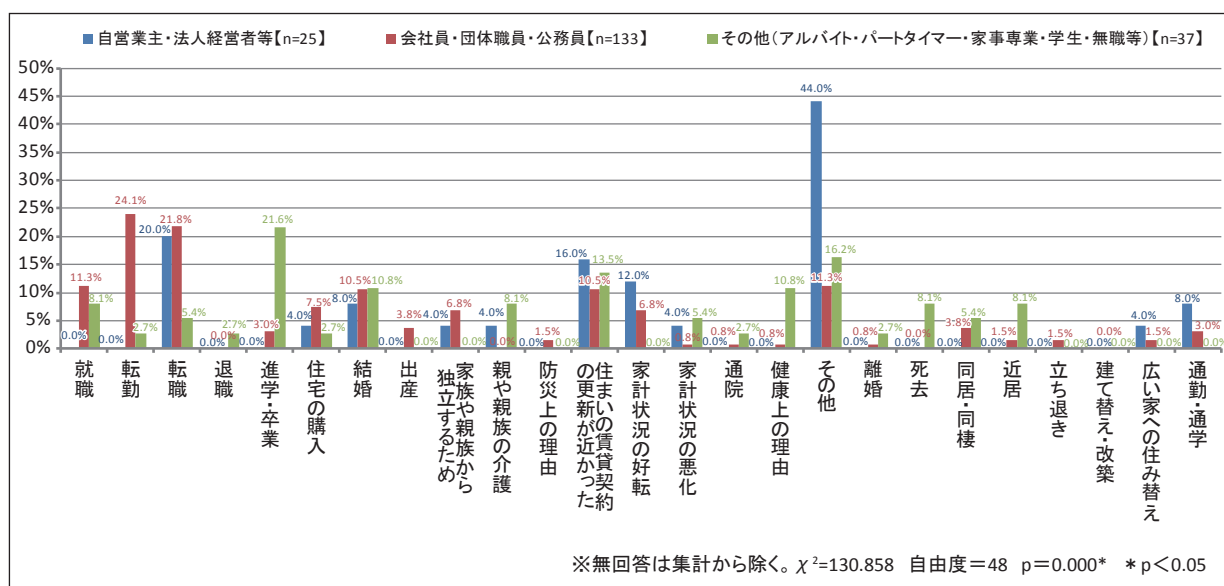
「会社員・団体職員・公務員」は、仕事に関する項目「転勤」、「転職」、「就職」が上位3項目である。

■ 調査結果

ここでは、「自営業主・法人経営者等」と「会社員・団体職員・公務員」に着目して分析する。

■ 特徴

図表3-1-2-16 職業別引越しのきっかけ



転入

■ 調査結果

62 | 港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査報告書

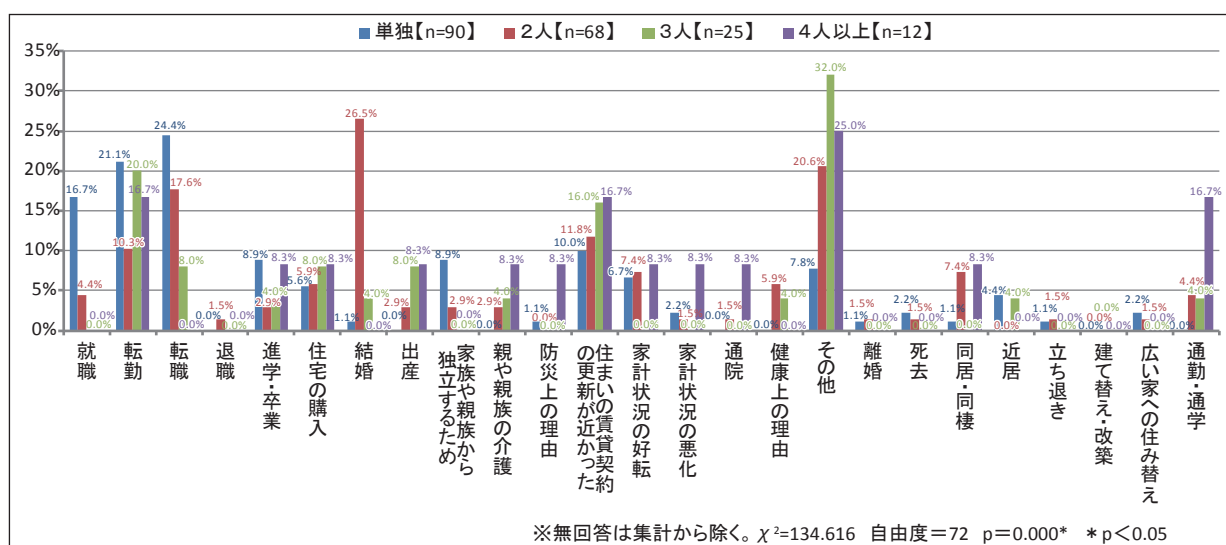
や親族の介護」(8.3%)、「防災上の理由」(8.3%)、「家計状況の悪化」(8.3%)、「通勤・通学」(8.3%)が同率2位である(図表3-1-2-18)。

■特徴

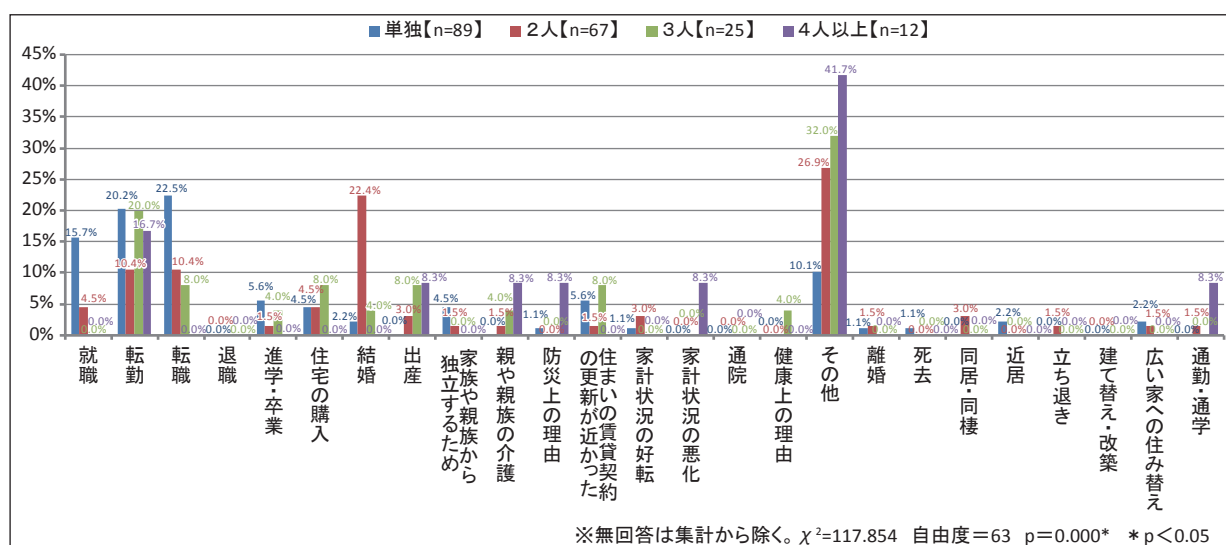
「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」、「住宅の購入」では、世帯の人数が多いほど回答割合がおおむね高い傾向がある。一方、「転職」では、世帯の人数が少ないほど回答割合が高い傾向がある。「就職」では、「単独」が突出して高く、「結婚」では、「2人」が突出して高いことが特徴的である。

「引越しのきっかけ(最重要)」(問8(2))と「引越しのきっかけ」(問8(1))を比較すると、おおむね同じ傾向であるが、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」はいずれの世帯の人数でも最重要のきっかけとしては割合が高くなく、「4人以上」では特に顕著である。

図表3-1-2-17 引越し後の世帯の人数別引越しのきっかけ



図表3-1-2-18 引越し後の世帯の人数別引越しのきっかけ(最重要)



(エ) 引越し後の配偶者同居の有無別引越しのきっかけ

転入

「配偶者同居なし」は、仕事に関する項目「転勤」、「転職」、「就職」が上位3項目である。

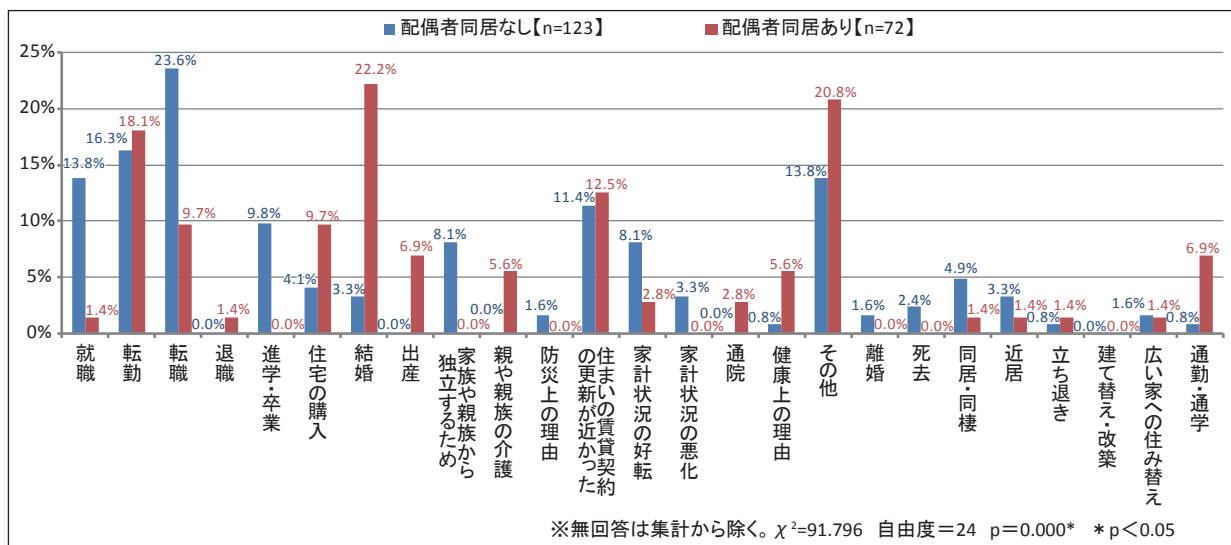
■調査結果

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「配偶者同居あり」は、「結婚」(22.2%)が最も多く、次いで「転勤」(18.1%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(12.5%)などが多くなっている。「配偶者同居なし」は、「転職」(23.6%)が最も多く、次いで「転勤」(16.3%)、「就職」(13.8%)などが多くなっている(図表3-1-2-19)。

■特徴

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「結婚」、「出産」では、「配偶者同居あり」の方が「配偶者同居なし」より、それぞれ19.0、6.9ポイント高い。一方、「転職」、「就職」では、「配偶者同居なし」の方が「配偶者同居あり」より、それぞれ13.9、12.4ポイント高い。「配偶者同居なし」は、「転勤」、「転職」、「就職」といった、仕事に関する項目が上位3位に入っており、転入における雇用関係の要素が大きいことがわかる。

図表3-1-2-19 引越し後の配偶者同居の有無別引越しのきっかけ



(オ) 引越し前の住所別引越しのきっかけ

転入

「その他の地域(国内)」及び「国外」では「転勤」が、「東京都内」では「住まいの賃貸契約の更新が近かった」が突出して高い。

■調査結果

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「東京都内」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(21.3%)が最も多く、次いで「転職」(16.0%)、「結婚」(11.7%)などが多くなっている。「近隣3県(神奈川・埼玉・千葉)」は、「転職」(25.0%)が最も多く、次いで「結婚」(16.7%)、「家計状況の好転」(11.1%)などが多くなっている。「その他の地域(国内)」では、「転勤」(37.5%)が最も多く、

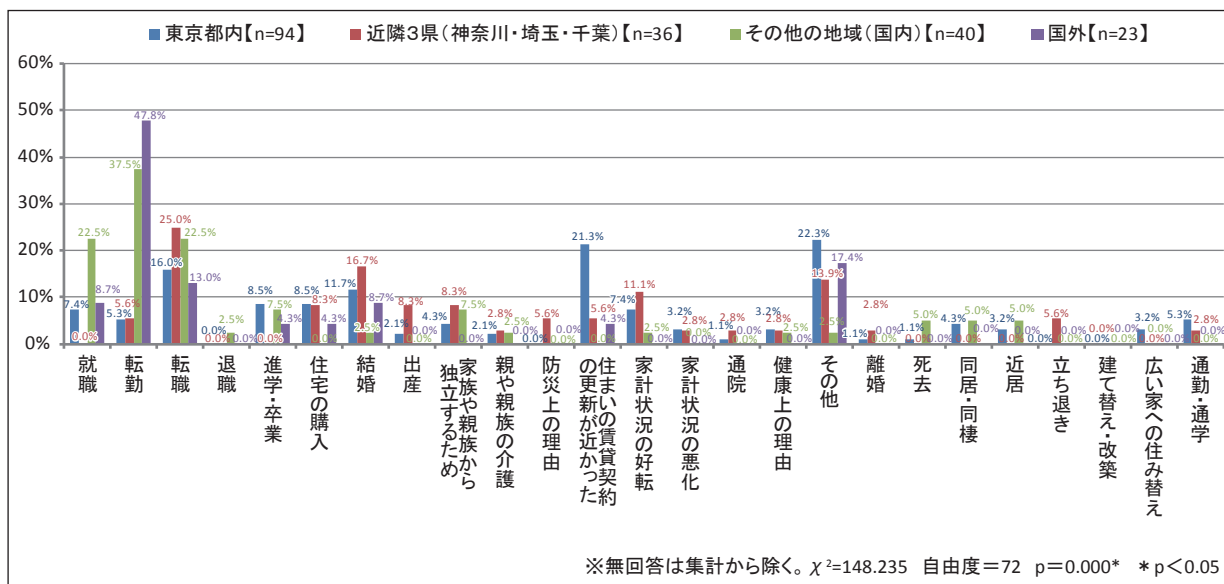
「就職」(22.5%)、「転職」(22.5%) が同率 2 位である。「国外」は、「転勤」(47.8%) が最も多く、「転職」(13.0%) が続き、「就職」(8.7%)、「結婚」(8.7%) が同率 3 位である(図表3-1-2-20)。

「引越しのきっかけ(最重要)」(問 8 (2)) について、「東京都内」は、「転職」(12.8%) が最も多く、次いで「結婚」(11.7%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(7.4%) などが多くなっている。「近隣 3 県(神奈川・埼玉・千葉)」は、「転職」(22.9%) が最も多く、「結婚」(14.3%) が続き、「住宅の購入」(8.6%)、「出産」(8.6%) が同率 3 位である。「その他の地域(国内)」では、「転勤」(38.5%) が最も多く、次いで「就職」(20.5%)、「転職」(17.9%) などが多くなっている。「国外」は、「転勤」(47.8%) が最も多く、「就職」(13.0%) が続き、「転職」(8.7%)、「結婚」(8.7%) が同率 3 位である(図表3-1-2-21)。

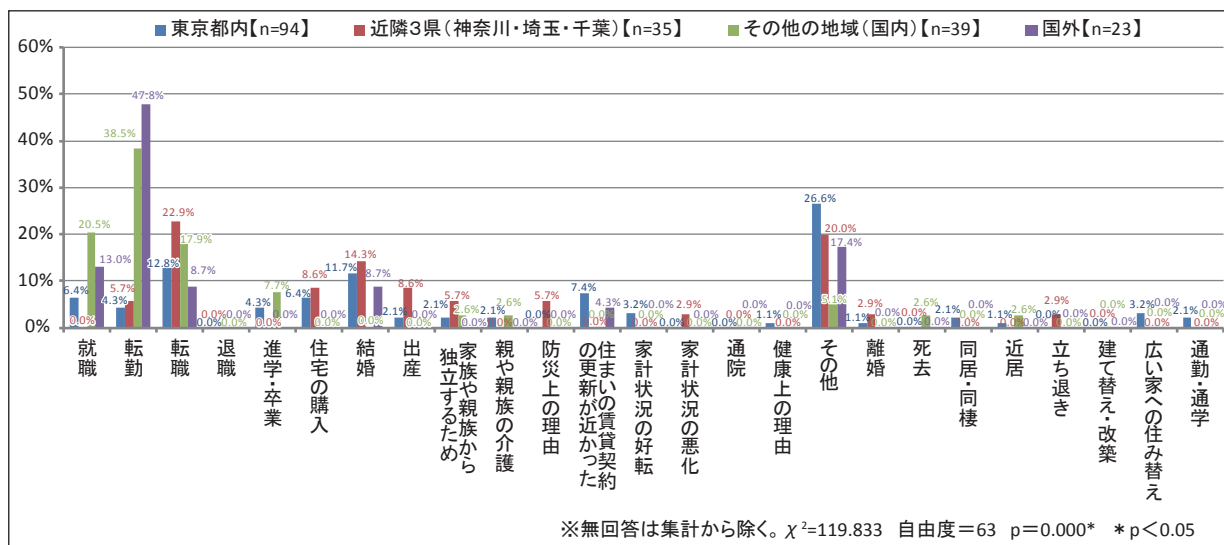
■特徴

「引越しのきっかけ」(問 8 (1)) について、「就職」では、「その他の地域(国内)」が突出して高い。

図表3-1-2-20 引越し前の住所別引越しのきっかけ



図表3-1-2-21 引越し前の住所別引越しのきっかけ(最重要)



「転勤」では、「その他の地域（国内）」、「国外」がそれぞれ3割5分以上である。「住まいの賃貸契約の更新が近かった」では、「東京都内」が突出して高い。

「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））を「引越しのきっかけ」（問8（1））と比較すると、おおむね同じ傾向であるが、「転勤」の「その他の地域（国内）」、「国外」は、相対的に突出している。一方、「東京都内」における「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は、最重要のきっかけとして割合が高くない。

転入

（カ）引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ

「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」で「就職」、「転勤」、「転職」、「結婚」は同様の傾向である。

■調査結果

ここでは、「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」に着目して分析する。

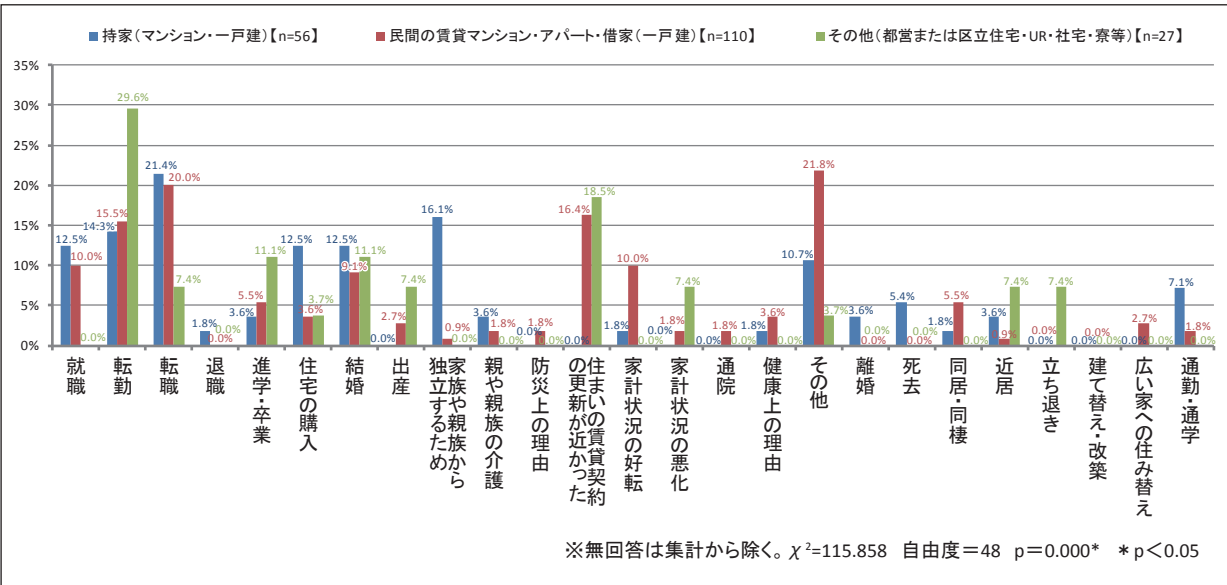
「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「転職」（21.4%）が最も多く、次いで「家族や親族から独立するため」（16.1%）、「転勤」（14.3%）などが多くなっている。「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」では、「転職」（20.0%）が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（16.4%）が続き、「転勤」（15.5%）などが多くなっている（図表3-1-2-22）。

「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「転職」（16.4%）が最も多く、「転勤」（12.7%）が続き、「就職」（10.9%）、「結婚」（10.9%）が同率3位である。「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」では、「転職」（16.5%）が最も多く、「転勤」（15.6%）が続き、「就職」（9.2%）、「結婚」（9.2%）が同率3位である（図表3-1-2-23）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「就職」、「転勤」、「転職」、「結婚」は、いずれも回答割

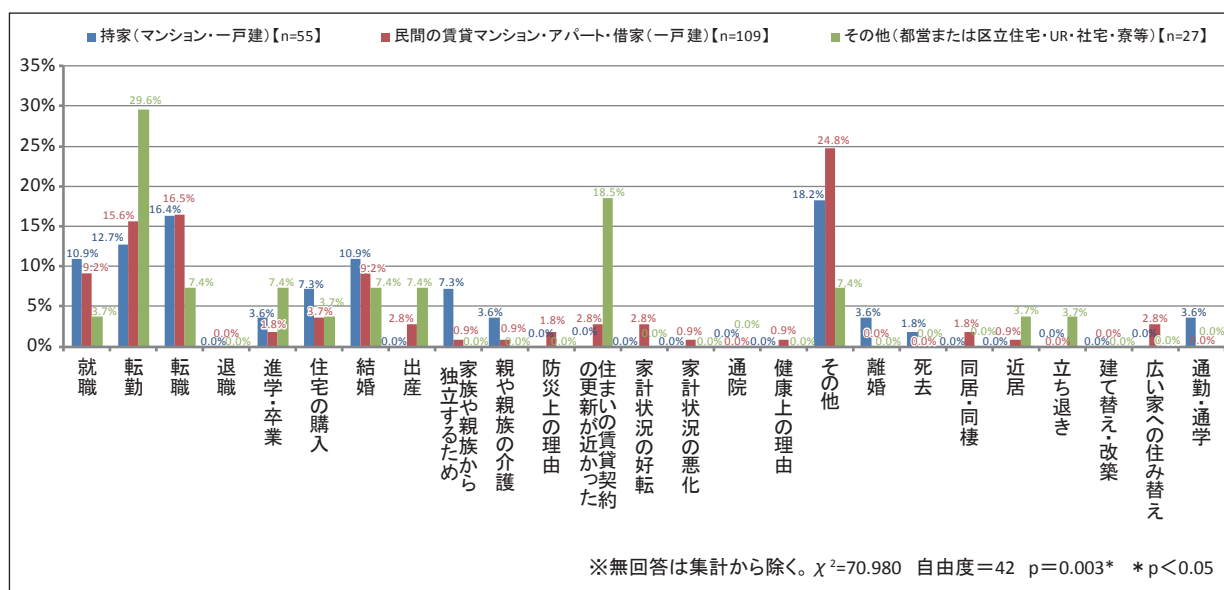
図表3-1-2-22 引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ



合が高く、住宅の所有形態による差異が生じない項目であることがわかる。一方、「住宅の購入」、「家族や親族から独立するため」は「持家（マンション・一戸建）」が、「家計状況の好転」は「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」が突出して高い。

「引越しのきっかけ（最重要）」（問8（2））を「引越しのきっかけ」（問8（1））と比較すると、おおむね同じ傾向であるが、「家族や親族から独立するため」の「持家（マンション・一戸建）」、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」の「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は最重要のきっかけとしては割合は高くない。

図表3-1-2-23 引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ（最重要）



（キ）引越し後の住宅の所有形態別引越しのきっかけ

転入

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」では「転職」が、「持家（マンション・一戸建）」では「住宅の購入」が突出して高い。

■調査結果

ここでは、「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」に着目して分析する。

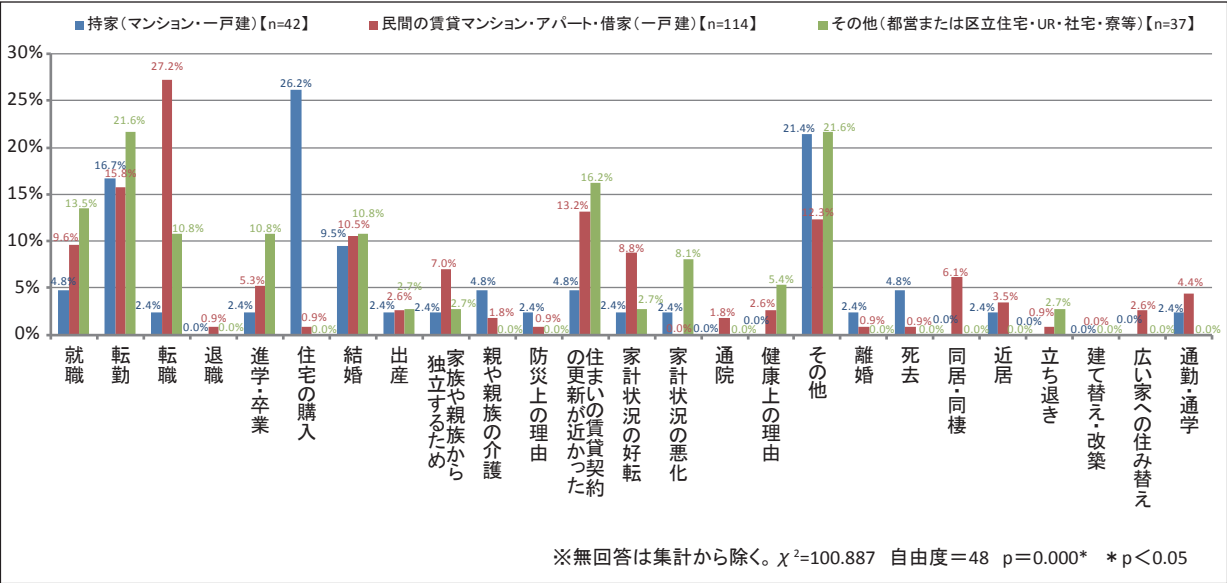
「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「住宅の購入」（26.2%）が最も多く、次いで「転勤」（16.7%）、「結婚」（9.5%）などが多くになっている。「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」では、「転職」（27.2%）が最も多く、次いで「転勤」（15.8%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（13.2%）などが多くになっている（図表3-1-2-24）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「転勤」は、いずれの所有形態でも回答割合が高い。一方、「転職」、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」が、「住宅の購入」は「持家（マンション・一戸建）」が突出して高く特徴的である。また、引越し前（前掲図表3-1-2-23）と比較すると、「持家（マンション・一戸建）」における「家族や親族から独立するため」が著しく低下しており、家族からの独立を契機に、持家（実家）から民間の賃貸等にシ

フトしていると考えられる。

図表3-1-2-24 引越し後の住宅の所有形態別引越しのきっかけ



(ク) 引越し前住所の居住期間別引越しのきっかけ

転入

「2～5年未満」は「住まいの賃貸契約の更新が近かった」が最も高い。

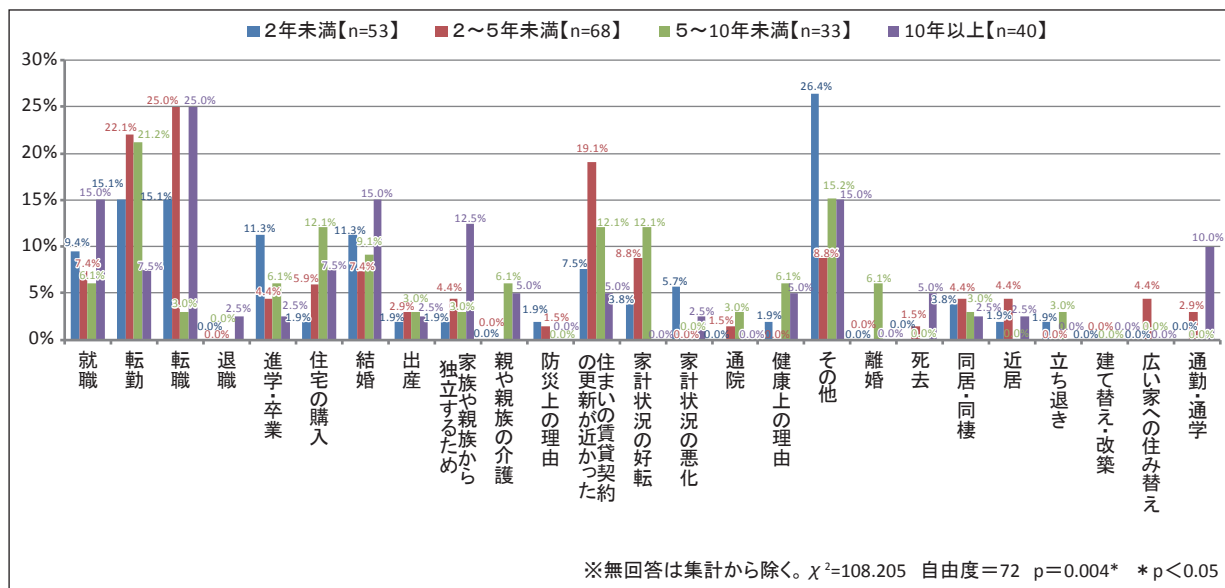
■調査結果

「引越しのきっかけ」(問8 (1)) について、「2年未満」は、「転勤」(15.1%)、「転職」(15.1%) が同率1位で最も多く、「進学・卒業」(11.3%)、「結婚」(11.3%) が同率3位である。「2～5年未満」は、「転職」(25.0%) が最も多く、次いで「転勤」(22.1%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(19.1%) などが多くなっている。「5～10年未満」では、「転勤」(21.2%) が最も多く、「住宅の購入」(12.1%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(12.1%)、「家計状況の好転」(12.1%) が同率2位である。「10年以上」では、「転職」(25.0%) が最も高く、「就職」(15.0%)、「結婚」(15.0%) が同率2位である(図表3-1-2-25)。

■特徴

「引越しのきっかけ」(問8 (1)) について、「転職」では、「5～10年未満」を除く居住期間で回答割合が高い。「就職」、「家族や親族から独立するため」では、「10年以上」が突出して高いことが特徴的である。「住まいの賃貸契約の更新が近かった」では、「2～5年未満」が最も高く、住居の契約のタイミング等が関係していると思われる。

図表3-1-2-25 引越し前住所の居住期間別引越しのきっかけ



(ケ) 引越した月別引越しのきっかけ

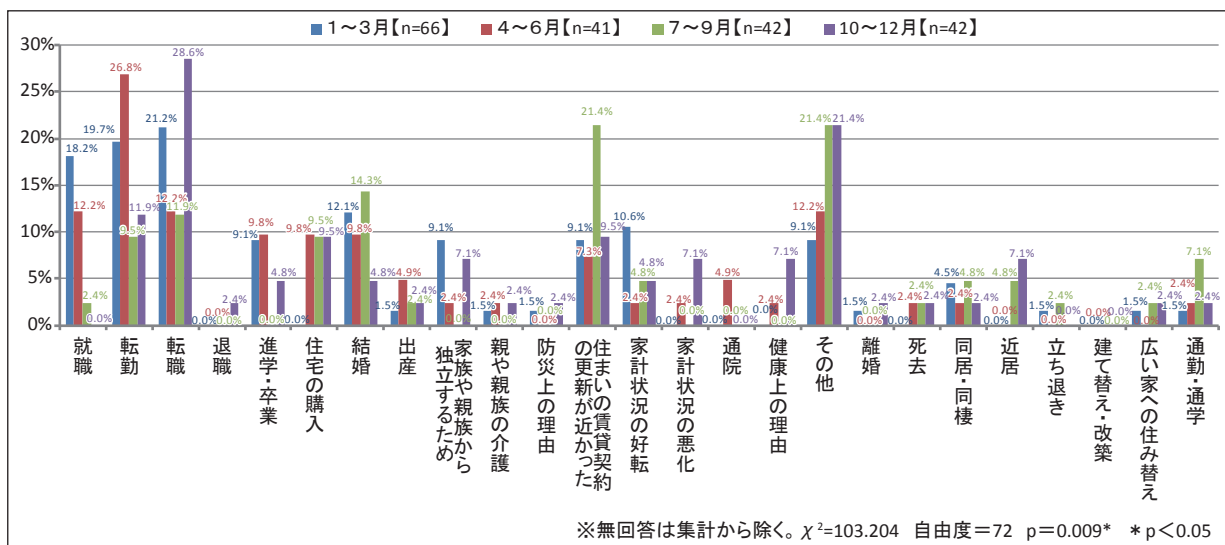
転入

「1～3月」、「4～6月」では「就職」、「転勤」の回答割合が高い。

■調査結果

「引越しのきっかけ」(問8 (1))について、「1～3月」は、「転勤」(21.2%)が最も多く、「転勤」(19.7%)、「就職」(18.2%)などが多くなっている。「4～6月」は、「転勤」(26.8%)が最も多く、「就職」(12.2%)、「転職」(12.2%)が同率2位である。「7～9月」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(21.4%)が最も多く、「結婚」(14.3%)、「転職」(11.9%)が多くなっている。「10～12月」は、「転職」(28.6%)が最も高く、「転勤」(11.9%)が続き、「住宅の購入」(9.5%)、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(9.5%)が同率3位である(図表3-1-2-26)。

図表3-1-2-26 引越した月別引越しのきっかけ



■特徴

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「就職」、「転職」では、「1～3月」、「4～6月」の回答割合が高い。一方で、「転職」では、「1～3月」、「10～12月」の割合が高い。「住まいの賃貸契約の更新が近かった」では、「7～9月」が突出して高い。

ウ 転居

（ア）年齢別引越しのきっかけ

転居

年齢が低いほど「結婚」の回答割合が高い。

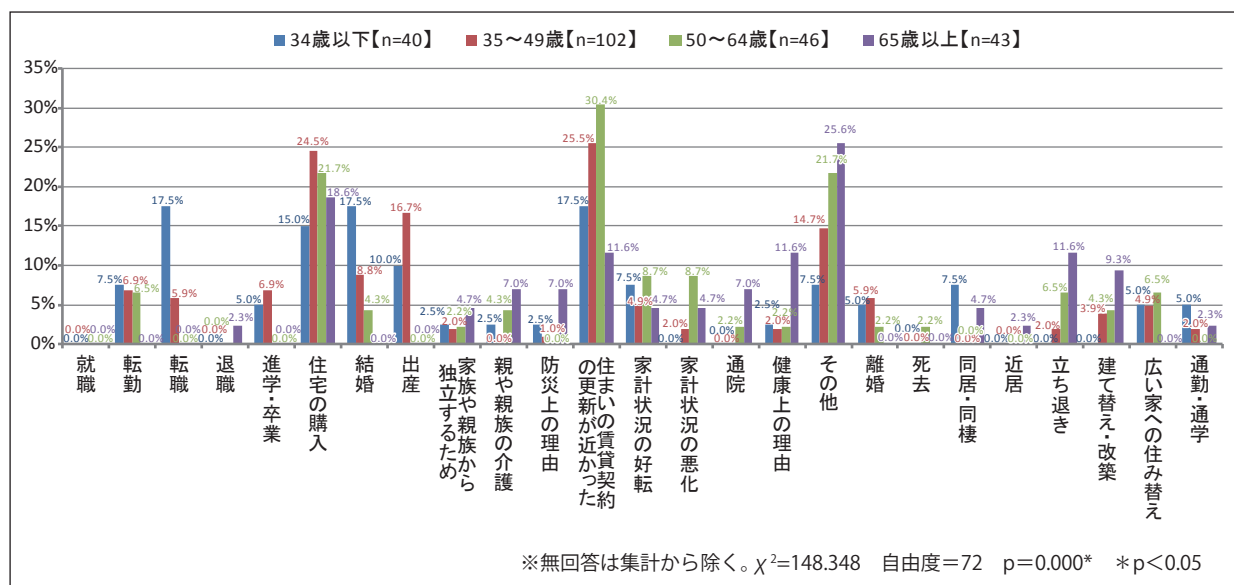
■調査結果

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「34歳以下」は、「転職」（17.5%）、「結婚」（17.5%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（17.5%）が同率 1 位である。「35～49歳」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（25.5%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（24.5%）、「出産」（16.7%）などが多くなっている。「50～64歳」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（30.4%）が最も多く、「住宅の購入」（21.7%）が続く。「家計状況の好転」（8.7%）、「家計状況の悪化」（8.7%）が同率 3 位である。「65歳以上」は、「住宅の購入」（18.6%）が最も多く、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（11.6%）、「健康上の理由」（11.6%）、「立ち退き」（11.6%）が同率 2 位である（図表3-1-2-27）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問 8（1））について、「結婚」では、年齢が低いほど回答割合が高い傾向がある。一方で、「立ち退き」、「建て替え・改築」では、年齢が高いほど回答割合が高い傾向がある。

図表3-1-2-27 年齢別引越しのきっかけ



(イ) 性別引越しのきっかけ

転居

「男性」の方が「女性」より、「住宅の購入」、「出産」の割合が高い。

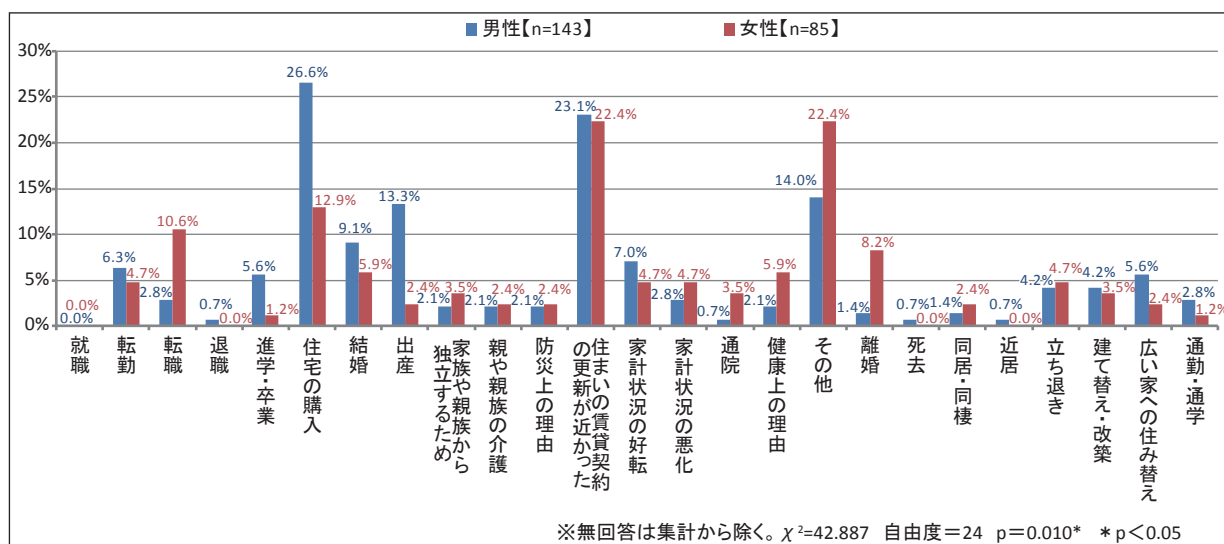
■調査結果

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「男性」は、「住宅の購入」（26.6%）が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（23.1%）、「出産」（13.3%）などが多くなっている。「女性」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（22.4%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（12.9%）、「転職」（10.6%）などが多くなっている（図表3-1-2-28）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「男性」の上位3位のうち、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は、「女性」の回答も2割を超すが、「住宅の購入」、「出産」では、「男性」の方が「女性」より、それぞれ13.6、10.9ポイント高い。

図表3-1-2-28 性別引越しのきっかけ



(ウ) 職業別引越しのきっかけ

転居

職業によらず「住宅の購入」と「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は回答割合が高い。

■調査結果

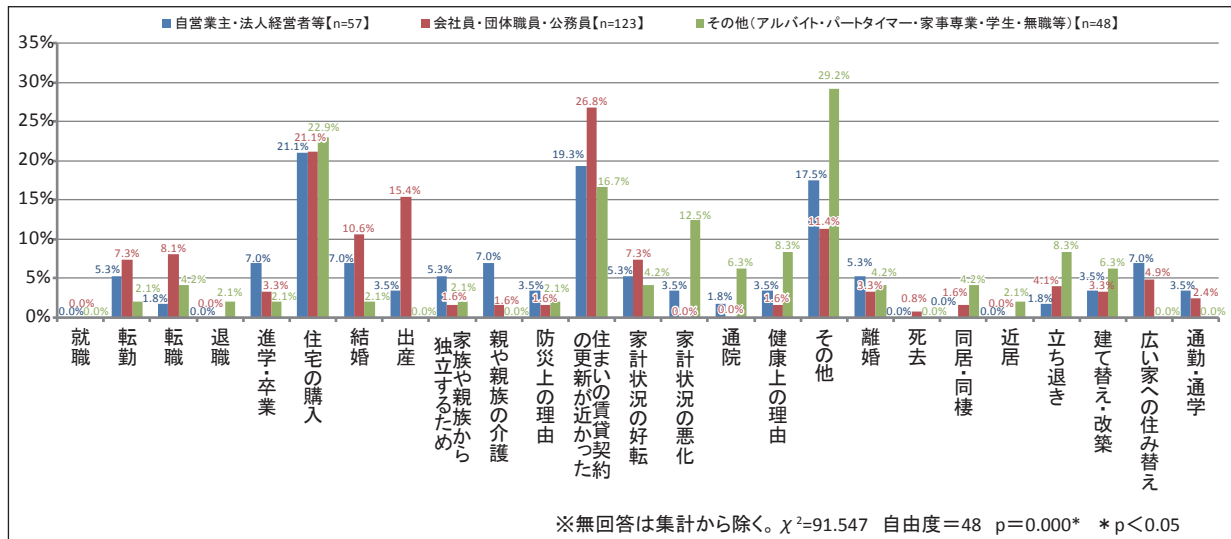
ここでは、「自営業主・法人経営者等」と「会社員・団体職員・公務員」に着目して分析する。

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「自営業主・法人経営者等」は、「住宅の購入」（21.1%）が最も多く、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（19.3%）が続き、「進学・卒業」（7.0%）、「結婚」（7.0%）、「親や親族の介護」（7.0%）、「広い家への住み替え」（7.0%）が同率3位である。「会社員・団体職員・公務員」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（26.8%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（21.1%）、「出産」（15.4%）などが多くなっている（図表3-1-2-29）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、職業によらず「住宅の購入」と「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は高く、一方で「出産」は「会社員・団体職員・公務員」が突出して高い。

図表3-1-2-29 職業別引越しのきっかけ



（エ）引越し前の世帯の人数別引越しのきっかけ

転居

世帯の人数が多いほど「住宅の購入」、「建て替え・改築」の回答割合がおおむね高い。

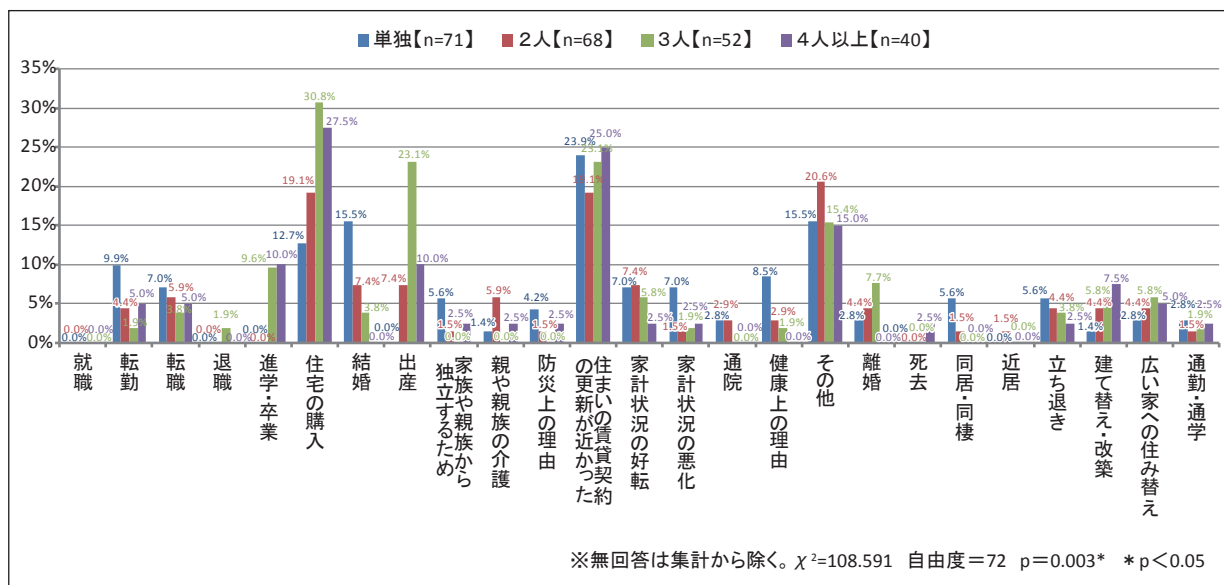
■調査結果

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「単独」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（23.9%）が最も多く、次いで「結婚」（15.5%）、「住宅の購入」（12.7%）などが多くなっている。「２人」は、「住宅の購入」（19.1%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（19.1%）が同率１位で最も多く、「結婚」（7.4%）、「出産」（7.4%）、「家計状況の好転」（7.4%）が同率３位である。「３人」は、「住宅の購入」（30.8%）が最も多く、「出産」（23.1%）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（23.1%）が同率２位である。「４人以上」は、「住宅の購入」（27.5%）が最も多く、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（25.0%）が続き、「進学・卒業」（10.0%）、「出産」（10.0%）が同率３位である（図表3-1-2-30）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「住宅の購入」、「建て替え・改築」では、世帯の人数が多いほど回答割合がおおむね高い傾向がある。一方、「転勤」、「転職」、「結婚」、「家計状況の好転」、「健康上の理由」、「立ち退き」では、世帯の人数が少ないほど回答割合がおおむね高い傾向がある。「出産」では、「３人」が突出して高い。

図表3-1-2-30 引越し前の世帯の人数別引越しのきっかけ



(オ) 引越し前の配偶者同居の有無別引越しのきっかけ

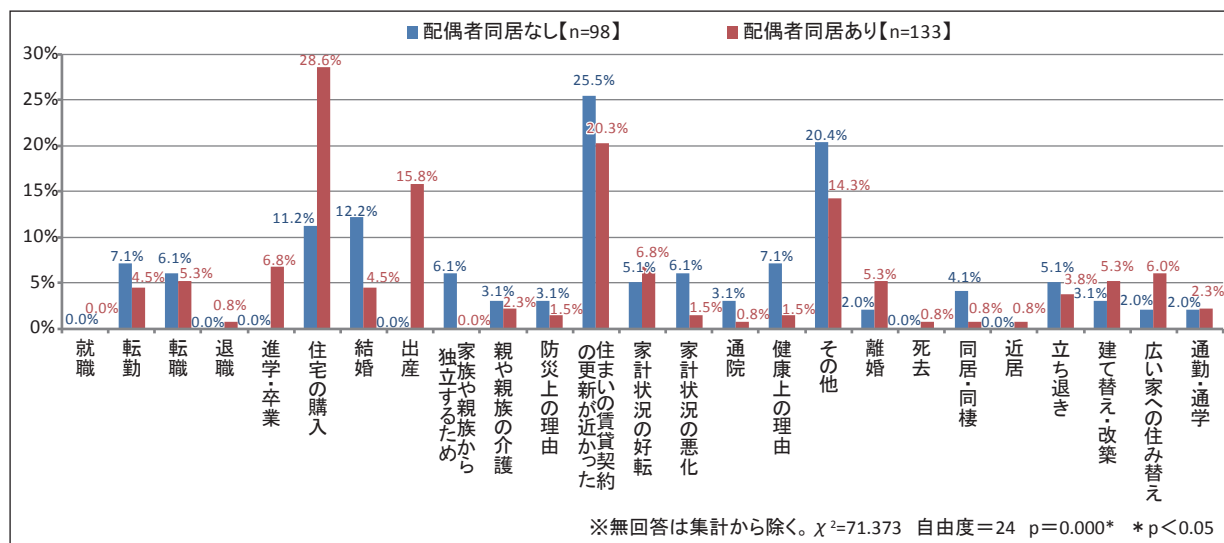
転居

「配偶者同居あり」は「配偶者同居なし」より「住宅の購入」及び「出産」の回答割合が突出して高い。

■調査結果

「引越しのきっかけ」(問8(1))について、「配偶者同居あり」は、「住宅の購入」(28.6%)が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(20.3%)、「出産」(15.8%)などが多くなっている。「配偶者同居なし」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」(25.5%)が最も多く、次いで「結婚」(12.2%)、「住宅の購入」(11.2%)などが多くなっている(図表3-1-2-31)。

図表3-1-2-31 引越し前の配偶者同居の有無別引越しのきっかけ



■特徴

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「住宅の購入」、「出産」では、「配偶者同居あり」の方が「配偶者同居なし」より、それぞれ17.3、15.8ポイント高い。一方、「配偶者同居なし」が「配偶者同居あり」を大きく上回る項目はなかった。また、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は、いずれの回答においても２割を超えている。

（カ）引越し前の０～６歳児同居の有無別引越しのきっかけ

転居

「０～６歳児同居あり」は「０～６歳児同居なし」より「出産」及び「住宅の購入」の回答割合が突出して高い。

■調査結果

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「０～６歳児同居あり」は、「出産」（43.3％）が最も多く、次いで「住宅の購入」（33.3％）、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（26.7％）などが多くなっている。「０～６歳児同居なし」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（21.9％）が最も多く、次いで「住宅の購入」（19.4％）、「結婚」（8.5％）などが多くなっている（図表3-1-2-32）。

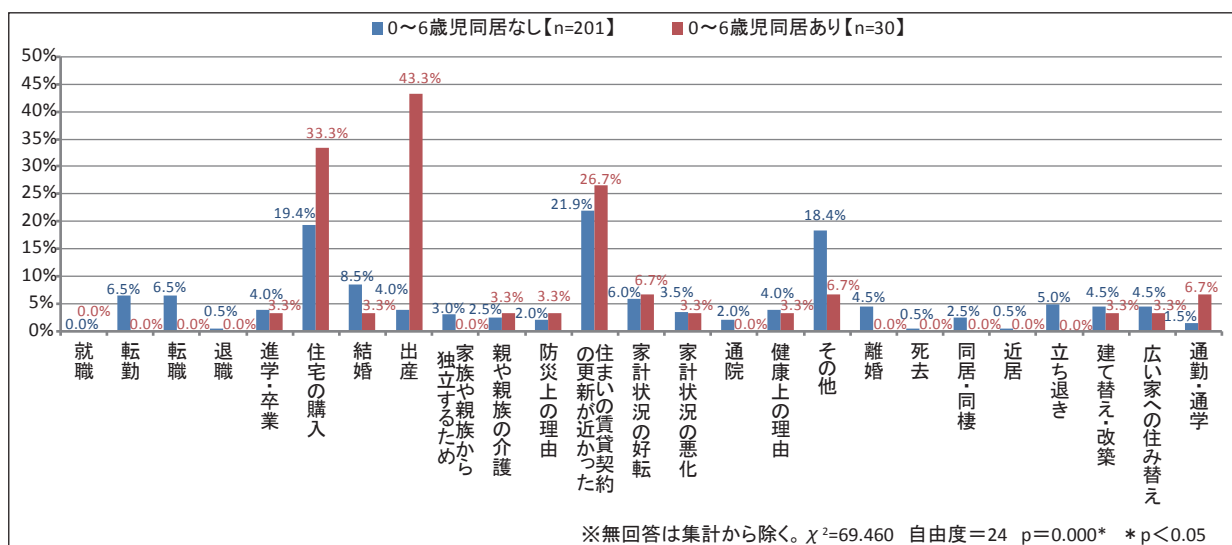
「引越しのきっかけ（最重要）」（問８（２））について、「０～６歳児同居あり」は、「住宅の購入」（30.0％）、「出産」（30.0％）が同率１位で最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（10.0％）などが多くなっている。「０～６歳児同居なし」は、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（15.2％）が最も多く、次いで「住宅の購入」（13.6％）、「結婚」（7.1％）などが多くなっている（図表3-1-2-33）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「出産」、「住宅の購入」では、「０～６歳児同居あり」の方が「０～６歳児同居なし」より、それぞれ39.4、13.9ポイント高い。一方、「０～６歳児同居なし」が「０～６歳児同居あり」を大きく上回る項目はなかった。「住まいの賃貸契約の更新が近かった」はいずれの回答においても、２割を超えている。

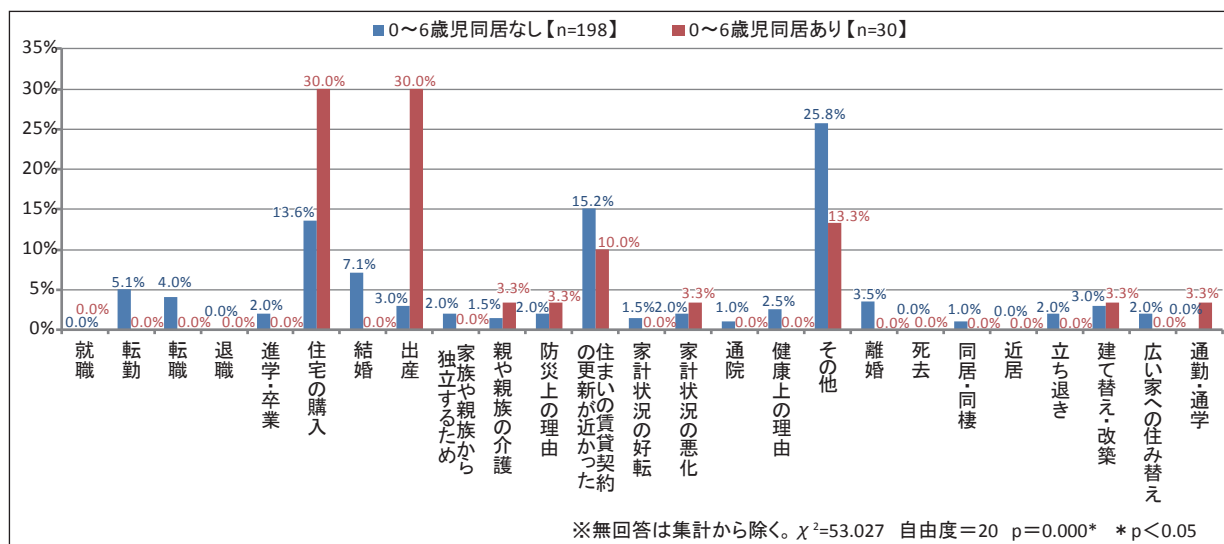
「引越しのきっかけ（最重要）」（問８（２））について、「出産」、「住宅の購入」では、「０～６歳児同

図表3-1-2-32 引越し前の０～６歳児同居の有無別引越しのきっかけ



居あり」の方が「0～6歳児同居なし」より、それぞれ27.0、16.4ポイント高い。一方、「0～6歳児同居なし」が「0～6歳児同居あり」を大きく上回る項目はなかった。おおむね「引越しのきっかけ」（問8（1））と同じ傾向であるが、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」は、いずれの回答でも回答率が低下しており、特に「0～6歳児同居あり」の低下が著しい。

図表3-1-2-33 引越し前の0～6歳児同居の有無別引越しのきっかけ（最重要）



（キ）引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ

転居

いずれの住宅の所有形態でも「住宅の購入」の回答割合が高い。

■調査結果

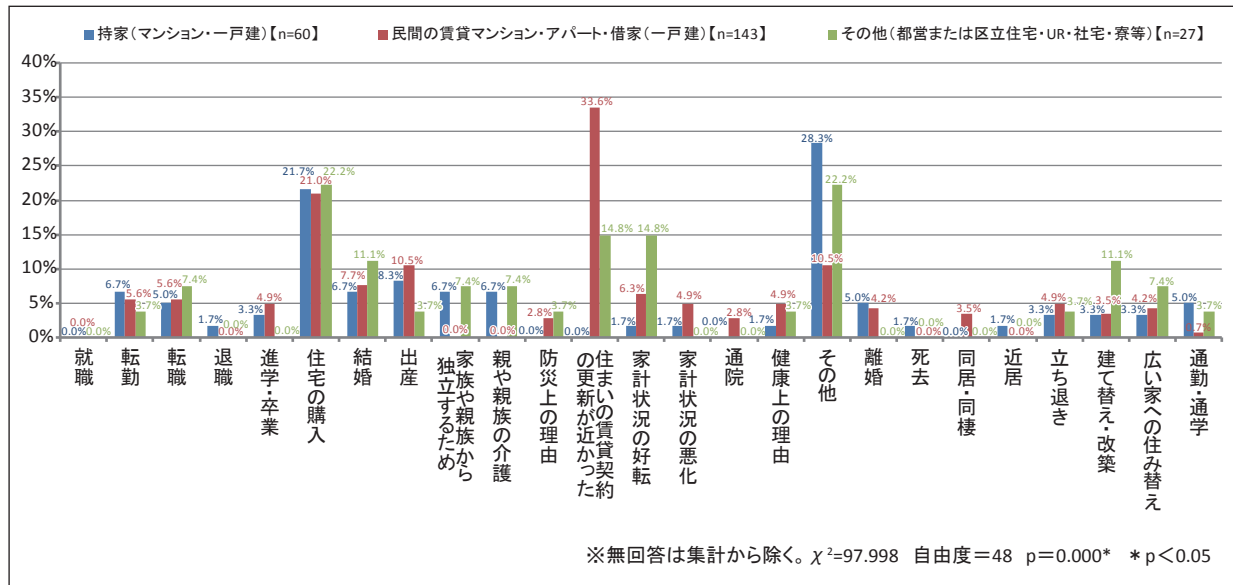
ここでは、「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」に着目して分析する。

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「住宅の購入」（21.7%）が最も多く、「出産」（8.3%）が続く、「転勤」（6.7%）、「結婚」（6.7%）、「家族や親族から独立するため」（6.7%）、「親や親族の介護」（6.7%）が同率3位である。「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」では、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（33.6%）が最も多く、次いで「住宅の購入」（21.0%）が続く、「出産」（10.5%）などが多くなっている（図表3-1-2-34）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問8（1））について、「住宅の購入」は、いずれの所有形態でも回答割合が高いことが分かる。

図表3-1-2-34 引越し前の住宅の所有形態別引越しのきっかけ



(ク) 引越し後の住宅の所有形態別引越しのきっかけ

転居

「持家（マンション・一戸建）」では「住宅の購入」が過半数を超えて、圧倒的に多い。

■調査結果

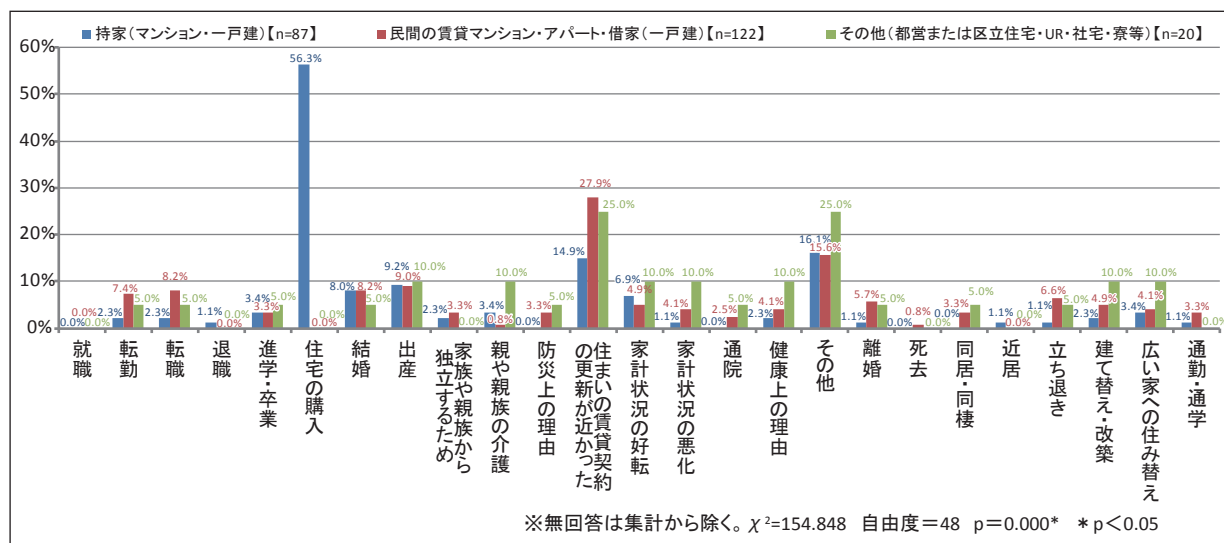
ここでは、「持家（マンション・一戸建）」と「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」に着目して分析する。

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「持家（マンション・一戸建）」は、「住宅の購入」（56.3％）が最も多く、次いで「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（14.9％）、「出産」（9.2％）などが多くなっている。「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」では、「住まいの賃貸契約の更新が近かった」（27.9％）が最も多く、「出産」（9.0％）が続く、「転勤」（8.2％）、「結婚」（8.2％）が同率３位である（図表3-1-2-35）。

■特徴

「引越しのきっかけ」（問８（１））について、「住宅の購入」の「持家（マンション・一戸建）」が過半数を超え、圧倒的に多い。転居後に持家に居住しているものは、住宅の購入をきっかけとして引越しをしていることがわかる。

図表3-1-2-35 引越し後の住宅の所有形態別引越しのきっかけ



2 引越し前の地域で不満だった点、引越し先を選んだ際決め手になった点等（問9（1）～（3））

問9（1）～（4）の4つの質問に対し、それぞれあてはまるものを以下の選択肢から選んで、番号でお答えください。（最大5つまで・順不同でも可）

(1) 引越し前のお住まいの地域で不満だった点・・・				
(2) 引越し先を選んだ際決め手になった点・・・				
(3) 実際に引越した後不満に感じている点・・・				
(4) あなたがふだん重要視している点・・・				

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 住宅価格・家賃 | 14. 勤務先との近さ |
| 2. 公共交通機関の利便性 | 15. 子育て支援の充実 |
| 3. 道路交通の利便性 | 16. 教育環境の充実（幼稚園・小学校） |
| 4. 防災面における安全性 | 17. 教育環境の充実（中学校） |
| 5. 治安 | 18. 教育環境の充実（高等学校） |
| 6. まちのイメージ | 19. 生涯学習の機会の充実 |
| 7. 景観・街並み | 20. 公園の充実 |
| 8. 自然の豊かさ | 21. スポーツ施設の充実 |
| 9. 飲食店の充実度 | 22. 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 10. 買い物のしやすさ | 23. 医療機関の充実 |
| 11. 環境に配慮したまちづくり | 24. 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 12. 地域コミュニティの活動 | 25. 国際性の豊かさ |
| 13. 友人・知人・親族が近くにいる | 26. その他（ ） |

(1) 基本集計結果

ア 転出

転出

引越し前は港区の「住宅価格・家賃」に5割以上が不満を感じ、4割以上が引越し先を選んだ際の決め手としており、引越し後は「公共交通機関の利便性」と「勤務先との近さ」に2割～3割が不満を感じている。

■調査結果

引越し前の地域で不満だった点について、第1位は「住宅価格・家賃」で52.4%、第2位は「買い物のしやすさ」で42.3%、第3位は「飲食店の充実度」で18.3%、第4位は「自然の豊かさ」で16.3%、第5位は「治安」で12.0%であった。

引越し先を選んだ際決め手となった点について、第1位は「住宅価格・家賃」で41.7%、第2位は「勤務先との近さ」で34.8%、第3位は「買い物のしやすさ」で33.5%、第4位は「公共交通機関の利便性」で33.0%、第5位は「自然の豊かさ」で20.0%であった。

引越した後不満を感じている点については、第1位は「公共交通機関の利便性」で26.9%、第2位は「勤務先との近さ」で22.0%、第3位は「飲食店の充実度」で19.9%、第4位は「買い物のしやすさ」で19.4%、第5位は「道路交通の利便性」で11.3%であった（図表3-2-1-1～3-2-1-3）。

■特徴

引越し前の地域で不満だった点は「住宅価格・家賃」が5割を超え、引越し先を選んだ際の決め手となった点についても「住宅価格・家賃」が4割を超える。引越し後は「公共交通機関の利便性」と「勤務先との近さ」に2割～3割が不満を感じている。

図表3-2-1-1 「転出」における引越し前の地域で不満だった点（上位5位）

順位	引越し前地域での不満	割合
1	住宅価格・家賃	52.4%
2	買い物のしやすさ	42.3%
3	飲食店の充実度	18.3%
4	自然の豊かさ	16.3%
5	治安	12.0%

図表3-2-1-2 「転出」における引越し先を選んだ際決め手になった点（上位5位）

順位	引越し先を選んだ際の決め手	割合
1	住宅価格・家賃	41.7%
2	勤務先との近さ	34.8%
3	買い物のしやすさ	33.5%
4	公共交通機関の利便性	33.0%
5	自然の豊かさ	20.0%

図表3-2-1-3 「転出」における引越した後不満を感じている点（上位5位）

順位	引越した後不満に感じている点	割合
1	公共交通機関の利便性	26.9%
2	勤務先との近さ	22.0%
3	飲食店の充実度	19.9%
4	買い物のしやすさ	19.4%
5	道路交通の利便性	11.3%

イ 転入

転入

引越し前は「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」に4割以上が不満を感じ、5割～6割が引越し先を選んだ際の決め手としており、引越し後は港区の「買い物のしやすさ」、「住宅価格・家賃」に4割～5割が不満を感じている。

■調査結果

引越し前の地域で不満だった点については、第1位は「勤務先との近さ」で42.7%、第2位は「公共交通機関の利便性」で42.0%、第3位は「飲食店の充実度」で21.0%、第4位は「買い物のしやすさ」で20.3%、第5位は「治安」で16.1%であった。

引越し先を選んだ際決め手になった点については、第1位は「勤務先との近さ」で62.8%、第2位は「公共交通機関の利便性」で50.0%、第3位は「まちのイメージ」で39.4%、第4位は「治安」で23.3%、第5位は「景観・街並み」で21.7%であった。

引越した後不満を感じている点については、第1位は「買い物のしやすさ」で49.7%、第2位は「住宅価格・家賃」で42.8%、第3位は「飲食店の充実度」で23.4%、第4位は「自然の豊かさ」で11.0%、第5位は「治安」で10.3%であった（図表3-2-1-4～3-2-1-6）。

■特徴

引越し前の地域で不満だった点は「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」が4割を超え、引越し先を選んだ際の決め手となった点についても「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」が5割～6割を超える。引越し後は「買い物のしやすさ」、「住宅価格・家賃」に4割～5割が不満を感じている。

図表3-2-1-4 「転入」における引越し前の地域で不満だった点（上位5位）

順位	引越し前地域での不満	割合
1	勤務先との近さ	42.7%
2	公共交通機関の利便性	42.0%
3	飲食店の充実度	21.0%
4	買い物のしやすさ	20.3%
5	治安	16.1%

図表3-2-1-5 「転入」における引越し先を選んだ際決め手になった点（上位5位）

順位	引越し先を選んだ際の決め手	割合
1	勤務先との近さ	62.8%
2	公共交通機関の利便性	50.0%
3	まちのイメージ	39.4%
4	治安	23.3%
5	景観・街並み	21.7%

図表3-2-1-6 「転入」における引越した後不満を感じている点（上位5位）

順位	引越した後不満を感じている点	割合
1	買い物のしやすさ	49.7%
2	住宅価格・家賃	42.8%
3	飲食店の充実度	23.4%
4	自然の豊かさ	11.0%
5	治安	10.3%

引越し前は港区の「住宅価格・家賃」に4割が不満を感じ、「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」を引越し先を選んだ際の決め手としており、引越し後は「買い物のしやすさ」に4割が不満を感じている。

■調査結果

引越し前の地域で不満だった点については、第1位は「住宅価格・家賃」で39.9%、第2位は「買い物のしやすさ」で25.0%、第3位は「公共交通機関の利便性」で15.5%、第4位は「飲食店の充実度」で14.9%、第5位は「自然の豊かさ」で11.5%であった。

引越し先を選んだ際決め手になった点については、第1位は「勤務先との近さ」で42.0%、第2位は「公共交通機関の利便性」で41.1%、第3位は「住宅価格・家賃」で32.4%、第4位は「買い物のしやすさ」で21.7%、第5位は「友人・知人・親族が近くにいる」で20.3%であった。

引越した後不満を感じている点については、第1位は「買い物のしやすさ」で41.5%、第2位は「飲食店の充実度」で29.3%、第3位は「住宅価格・家賃」で23.8%、第4位は「公共交通機関の利便性」で13.6%、第5位は「道路交通の利便性」で9.5%であった（図表3-2-1-7～3-2-1-9）。

■特徴

引越し前の地域で不満だった点については「住宅価格・家賃」が4割を超え、引越し先を選んだ際の決め手となった点については、「勤務先との近さ」、「公共交通機関の利便性」がそれぞれ4割を超える。引越後は「買い物のしやすさ」に4割が不満を感じている。

図表3-2-1-7 「転居」における引越し前の地域で不満だった点（上位5位）

順位	引越し前地域での不満	割合
1	住宅価格・家賃	39.9%
2	買い物のしやすさ	25.0%
3	公共交通機関の利便性	15.5%
4	飲食店の充実度	14.9%
5	自然の豊かさ	11.5%

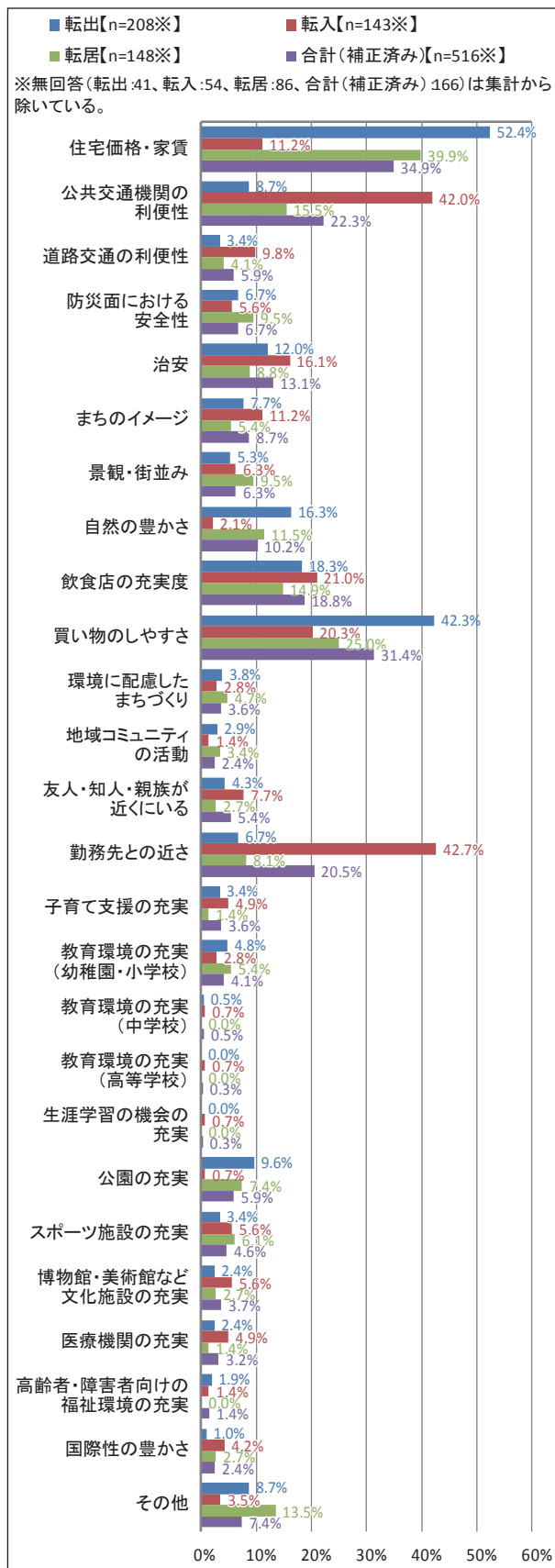
図表3-2-1-8 「転居」における引越し先を選んだ際決め手になった点（上位5位）

順位	引越し先を選んだ際の決め手	割合
1	勤務先との近さ	42.0%
2	公共交通機関の利便性	41.1%
3	住宅価格・家賃	32.4%
4	買い物のしやすさ	21.7%
5	友人・知人・親族が近くにいる	20.3%

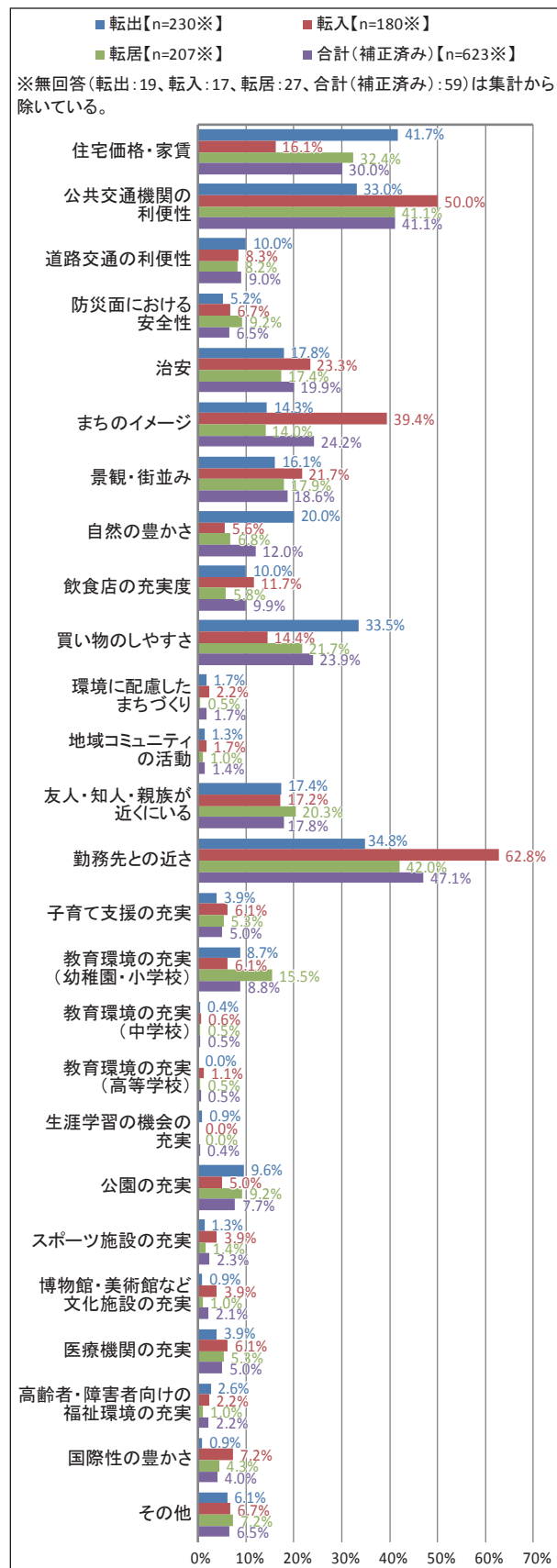
図表3-2-1-9 「転居」における引越した後不満を感じている点（上位5位）

順位	引越した後不満に感じている点	割合
1	買い物のしやすさ	41.5%
2	飲食店の充実度	29.3%
3	住宅価格・家賃	23.8%
4	公共交通機関の利便性	13.6%
5	道路交通の利便性	9.5%

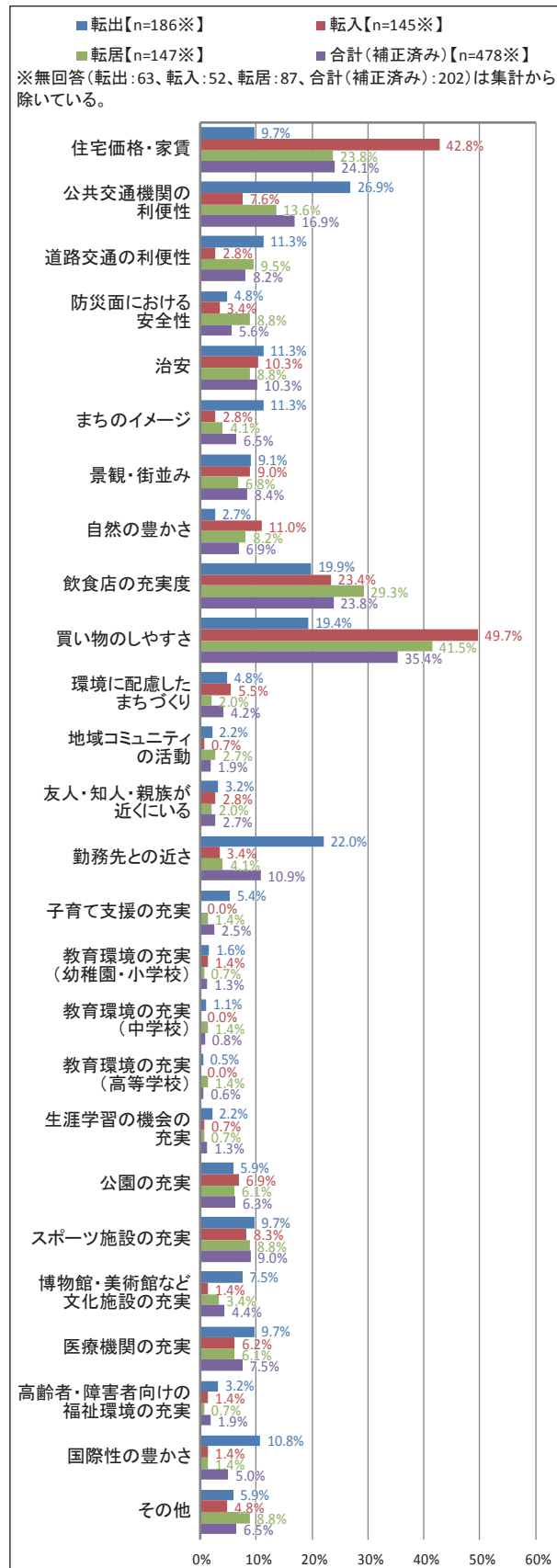
図表3-2-1-10 「転出・転入・転居」における引越し前の地域で不満だった点（全項目）



図表3-2-1-11 「転出・転入・転居」における引越し先を選んだ際決め手になった点（全項目）



図表3-2-1-12 「転出・転入・転居」における引越し後
不満を感じている点（全項目）



(2) クロス集計結果

ア 転出

(ア) 引越しの決め手・引越し前後の不満の全体傾向

転出

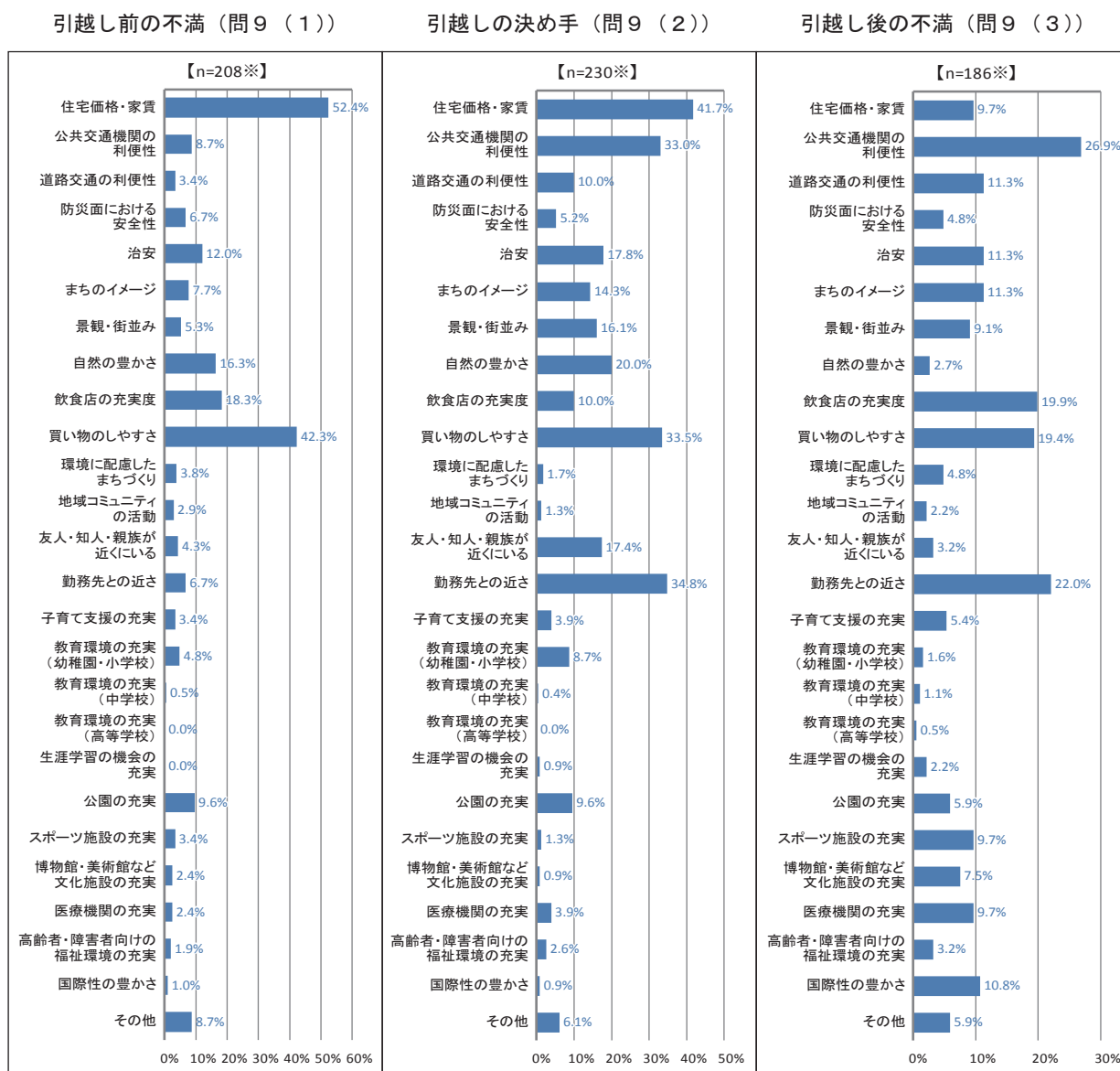
「住宅価格・家賃」と「買い物のしやすさ」に対する不満が港区からの流出につながっている。

■ 調査結果

引越し前の不満（問9（1））は「住宅価格・家賃」が52.4%で最も多く、次いで「買い物のしやすさ」（42.3%）が多い。

引越しの決め手（問9（2））は「住宅価格・家賃」が41.7%で最も多く、次いで「勤務先との近さ」（34.8%）、「買い物のしやすさ」（33.5%）などが多くなっている。引越し後の不満（問9（3））は「公

図表3-2-2-1 引越しの決め手・引越し前後の不満の全体傾向



※無回答は集計から除いている。

公共交通機関の利便性」が26.9%で最も多く、次いで「勤務先との近さ」(22.0%)、「飲食店の充実度」(19.9%)、「買い物のしやすさ」(19.4%)が多くなっている(図表3-2-2-1)。

■特徴

「住宅価格・家賃」は引越し前の不満(問9(1))と引越しの決め手(問9(2))で多く、引越し後の不満(問9(3))で少なくなっていることから、港区外への転出の要因であり、転出により不満がかなり解消されている事が伺える。「買い物のしやすさ」についても引越し前の不満(問9(1))と引越しの決め手(問9(2))が多く、引越し後の不満(問9(3))が少ないという点については同じだが、転出によって不満が解消される人の割合は「住宅価格・家賃」に比べると低い。一方、「公共交通機関の利便性」や「勤務先の近さ」については、引越し前の不満(問9(1))は少なく、引越しの決め手(問9(2))と引越し後の不満(問9(3))が多い傾向がある。

転出

(イ) 年齢別引越しの決め手・引越し前後の不満

「買い物のしやすさ」に対する不満は全年齢で共通している。また、「住宅価格・家賃」は若者にとってより大きな不満点となっている。

■調査結果

「34歳以下」について、引越し前の不満(問9(1))では「住宅価格・家賃」(59.6%)が最も多く、「買い物のしやすさ」(47.2%)が2番目に多い。引越しの決め手(問9(2))では「勤務先との近さ」(49.5%)が最も多く、次いで多いものに「住宅価格・家賃」(43.3%)、「公共交通機関の利便性」(38.1%)、「買い物のしやすさ」(38.1%)などがある。引越し後の不満(問9(3))では「公共交通機関の利便性」(22.2%)が最も多く、次いで「飲食店の充実度」(18.5%)、「買い物のしやすさ」(17.3%)が多くなっている。

「35～49歳」について、引越し前の不満(問9(1))では「住宅価格・家賃」(55.7%)が最も多く、「買い物のしやすさ」(34.3%)が2番目に多い。引越しの決め手(問9(2))では最も多いのが「住宅価格・家賃」(46.6%)、続いて「勤務先との近さ」(32.9%)、「公共交通機関の利便性」(31.5%)、「買い物のしやすさ」(28.8%)、「自然の豊かさ」(27.4%)など多くなっている。引越し後の不満(問9(3))では「公共交通機関の利便性」(37.9%)が最も多く、「勤務先との近さ」(31.0%)が2番目に多くなっている。

「50～64歳」について、引越し前の不満(問9(1))では「買い物のしやすさ」(46.7%)で最も多く、次いで「住宅価格・家賃」(40.0%)が多くなっている。引越しの決め手(問9(2))では「住宅価格・家賃」(36.1%)が最も多く、次いで「自然の豊かさ」(33.3%)など多くなっている。引越し後の不満(問9(3))では、「勤務先との近さ」(32.1%)が最も多く、次いで「飲食店の充実度」(28.6%)など多くなっている。

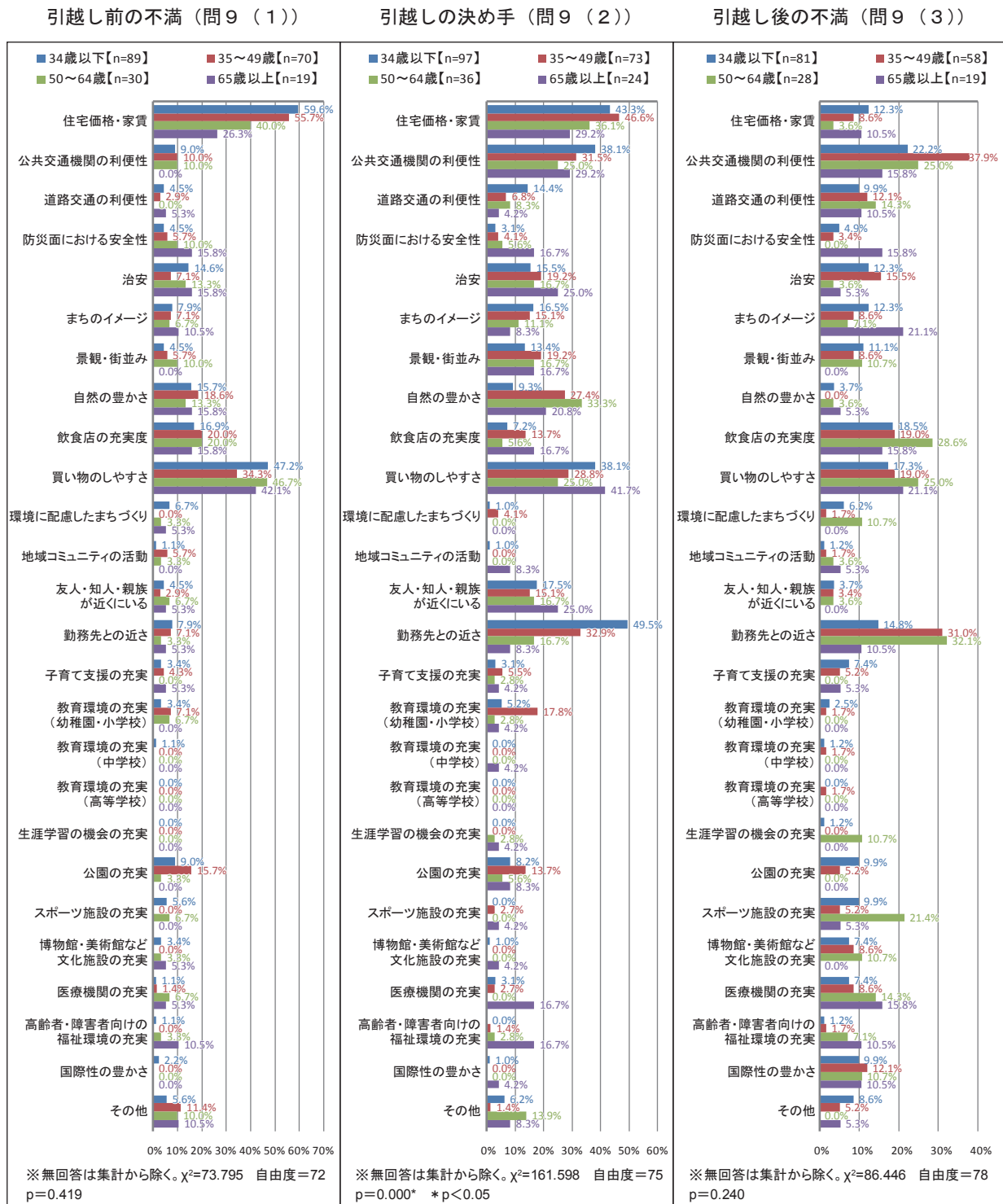
「65歳以上」について、引越し前の不満(問9(1))では「買い物のしやすさ」(42.1%)が最も多く、「住宅価格・家賃」(26.3%)が2番目に多くなっている。引越しの決め手(問9(2))では「買い物のしやすさ」(41.7%)が最も多く、「住宅価格・家賃」(29.2%)「公共交通機関の利便性」(29.2%)などが次いで多くなっている。引越し後の不満(問9(3))では「まちのイメージ」(21.1%)や「買い物のしやすさ」(21.1%)などが多い(図表3-2-2-2)。

■特徴

引越し前の不満(問9(1))で「住宅価格・家賃」を選択する人の割合が高いのはどの年齢層においても共通の結果だが、若い年齢層の方が高齢層よりも高い割合になっている。若い年齢層のほうが所

得や資産が少ないため高齢層よりも「住宅価格・家賃」に対して敏感になっている可能性がある。「買物のしやすさ」についてもすべての年齢層において引越し前の不満（問9（1））で選択される割合が高い。引越しの決め手（問9（2））で最も年齢層間の差異が大きいのは「勤務先との近さ」であった。若年層の方が「勤務先との近さ」を決め手に転出先を選ぶ人が多い。「65歳以上」が引越しの決め手（問9（2））で「友人・知人・親族が近くにいる」を選んでいる割合が高いのが特徴的である。

図表3-2-2-2 年齢別引越しの決め手・引越し前後の不満



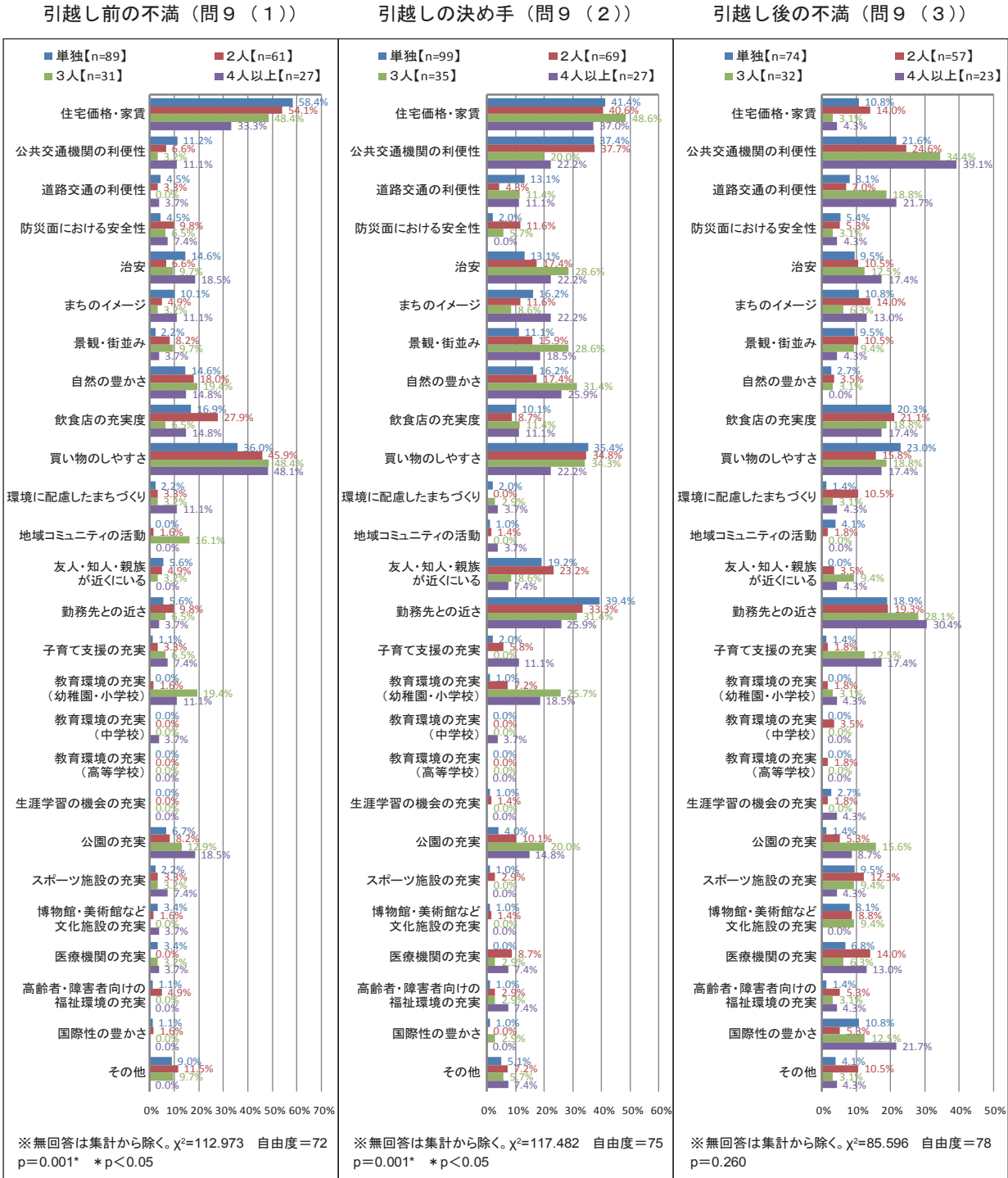
(ウ) 引越し前の世帯の人数別引越しの決め手・引越し前後の不満

引越し前の世帯の人数が少ない方が「住宅価格・家賃」に不満を持ちやすい。

■ 調査結果

引越し後の不満（問9（3））に統計的有意差はない。「単独」の上位は引越し前の不満（問9（1））

図表3-2-2-3 引越し前の世帯の人数別引越しの決め手・引越し前後の不満



では「住宅価格・家賃」(58.4%)、引越しの決め手(問9(2))では「住宅価格・家賃」(41.4%)であった。「2人」の上位は引越し前の不満(問9(1))では「住宅価格・家賃」(54.1%)、引越しの決め手(問9(2))では「住宅価格・家賃」(40.6%)であった。「3人」の上位は引越し前の不満(問9(1))では「住宅価格・家賃」と「買い物のしやすさ」が同率で48.4%、引越しの決め手(問9(2))では「住宅価格・家賃」(48.6%)であった。「4人以上」の上位は引越し前の不満(問9(1))では「買い物のしやすさ」(48.1%)、引越しの決め手(問9(2))では「住宅価格・家賃」(37.0%)であった(図表3-2-2-3)。

■特徴

引越し前の不満(問9(1))において引越し前の世帯の人数が少ないほど「住宅価格・家賃」に不満を持つ割合が高くなっている。「公共交通機関の利便性」や「勤務先との近さ」に関して、引越しの決め手(問9(2))では「単独」及び「2人」が「3人」及び「4人以上」より高い。

(エ) 引越し前の配偶者同居の有無別引越しの決め手・引越し前後の不満

転出

「配偶者同居あり」は子育て環境をより重視する傾向にある。

■調査結果

「配偶者同居なし」では引越し前の不満(問9(1))の上位は「住宅価格・家賃」(52.2%)、引越しの決め手(問9(2))の上位は「住宅価格・家賃」(41.1%)、引越し後の不満(問9(3))の上位は「公共交通機関の利便性」(26.8%)であった。「配偶者同居あり」では引越し前の不満(問9(1))の上位は「住宅価格・家賃」(52.8%)、引越しの決め手(問9(2))の上位は「住宅価格・家賃」(43.0%)、引越し後の不満(問9(3))の上位は「公共交通機関の利便性」(27.0%)であった(図表3-2-2-4)。

■特徴

引越し前の不満(問9(1))、引越しの決め手(問9(2))、引越し後の不満(問9(3))を通じて「配偶者同居あり」のほうが「教育環境の充実(幼稚園・小学校)」、「公園の充実」、「子育て支援の充実」など子育てに関連する生活環境の割合が高い。また、引越しの決め手(問9(2))においては「防災面における安全性」、「景観・街並み」、「治安」についても「配偶者同居あり」のほうが「配偶者同居なし」よりも割合が高い。